

松島町防災マップ

万が一の災害時にあわてないために

索引

空から見る松島町(航空写真)… 1

地震防災マップとは… 5

揺れやすさマップとは… 6

地域の危険度マップとは… 8

揺れやすさマップ… 9

地域の危険度マップ… 13

津波による浸水想定マップとは… 17

津波による浸水想定マップ(海岸部周辺)… 19

風水害(土砂災害)対策… 21

浸水想定区域図とは… 24

浸水想定区域図… 25

地震対策… 29

火災対策… 30

わが家の防災対策… 31

非常持出品の準備… 34

裏表紙に緊急時の
必要事項を記入
しておき
ましょう。

この防災マップは、いずれ起るかもしれない様々な災害に対し、事前に備えることを目的に制作されましたので、ご活用ください。

また、予測不可能な災害の被害を最小限にとどめるため、常日頃内容に目を通し、家族で話し合いなどをしながら理解を深めていきましょう。



松島町

宮城県松島町高城字町10番地

TEL022-354-5701(代)

町民の皆様へ

松島町長 大橋 健男

町民の皆様には日頃から消防防災行政に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、皆様もご記憶に新しいかと思いますが、平成15年7月26日に発生した宮城県北部連続地震では、当町でも多くの被害が発生しました。

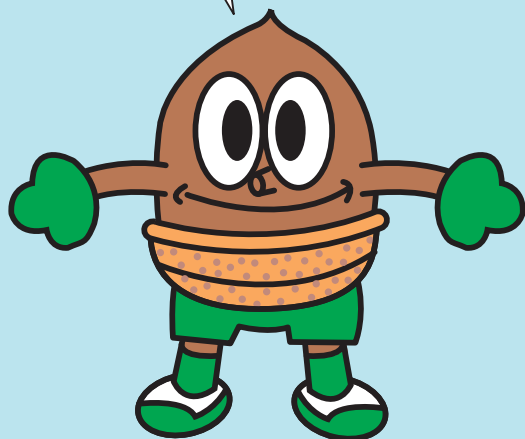
また、平成16年には新潟中越地震、そして平成20年には岩手・宮城内陸地震など多くの地震災害が発生しております。さらに今後30年の間に99%の確率で宮城県沖地震が発生すると言われており、十分な心構えが必要です。

地震災害以外でも当町は、吉田川などの河川や海岸線を有しており、土砂災害、水害(浸水)、津波、高潮など多くの自然災害を受けやすい環境におかれています。

このような予測不可能な災害等に対して、「デジタル式防災行政無線」の整備などを図ってまいりましたが、防災対策の一環として新たに『松島町防災マップ』を作成し、皆様へ配布することとしました。

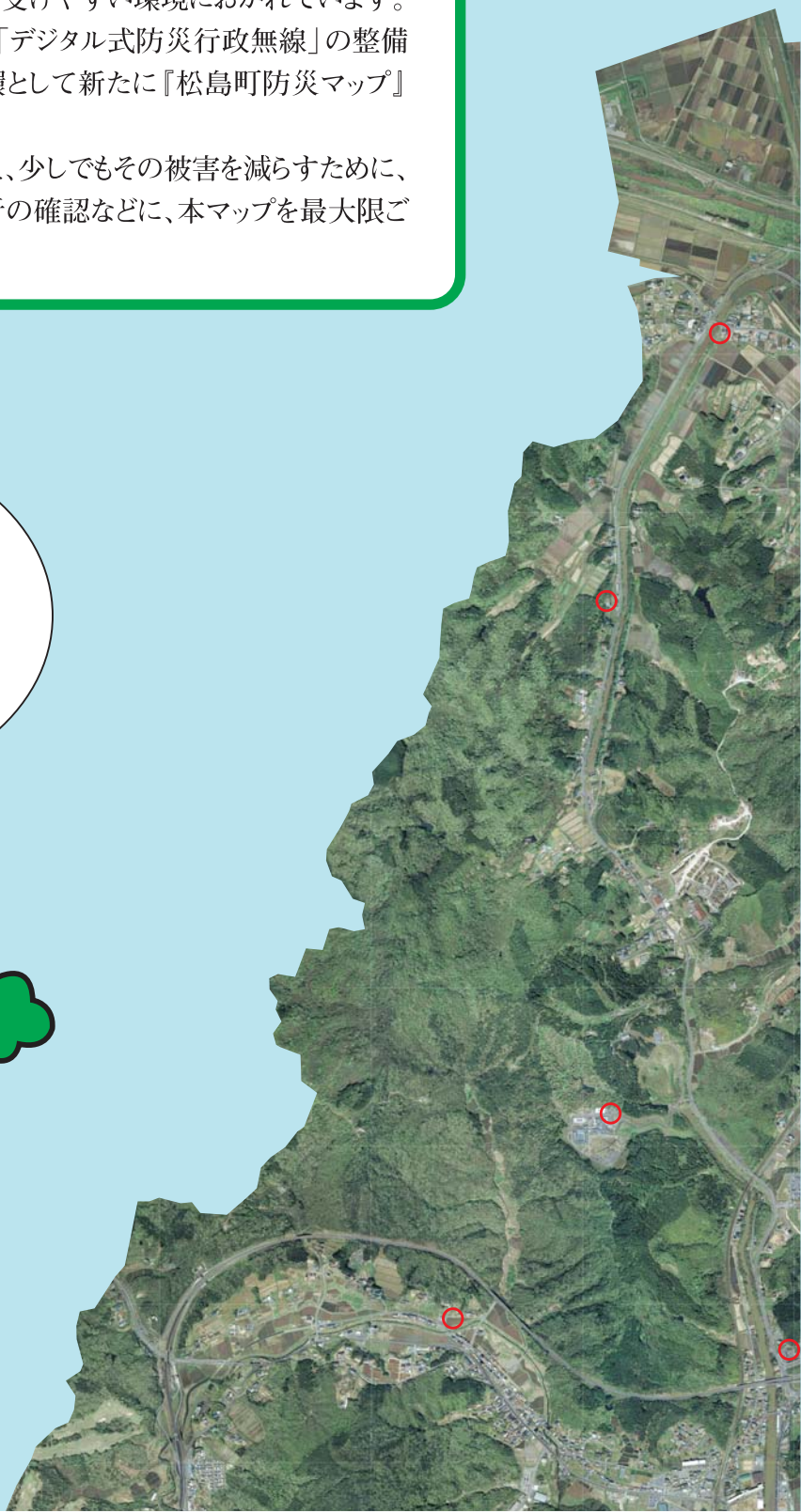
いつ発生するかわからない自然災害に備え、少しでもその被害を減らすために、常日頃から避難場所や持ち出し品、連絡場所の確認などに、本マップを最大限ご活用していただくようお願いいたします。

あなたの家は
どこにあるの？
印を付けて
おきましょう。



1 : 20,000

0 500m 1000m 2000m



空から見る松島町

北部地域

災害は突然やってきます。
日頃から自分の住んでる町を
知っておきましょう。



凡例 ○ 防災行政無線設置箇所

空から見る 松島町

南部地域

3

自主防災組織に参加しましょう！

自分達の地域は自分達で守るために、自主防災組織の活動に積極的に参加しましょう。普段から災害に備え、初期消火訓練や避難訓練、防災行政無線や移動式無線を使つての情報収集訓練などを実施しています。

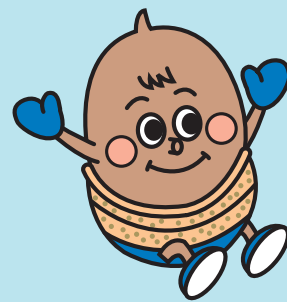
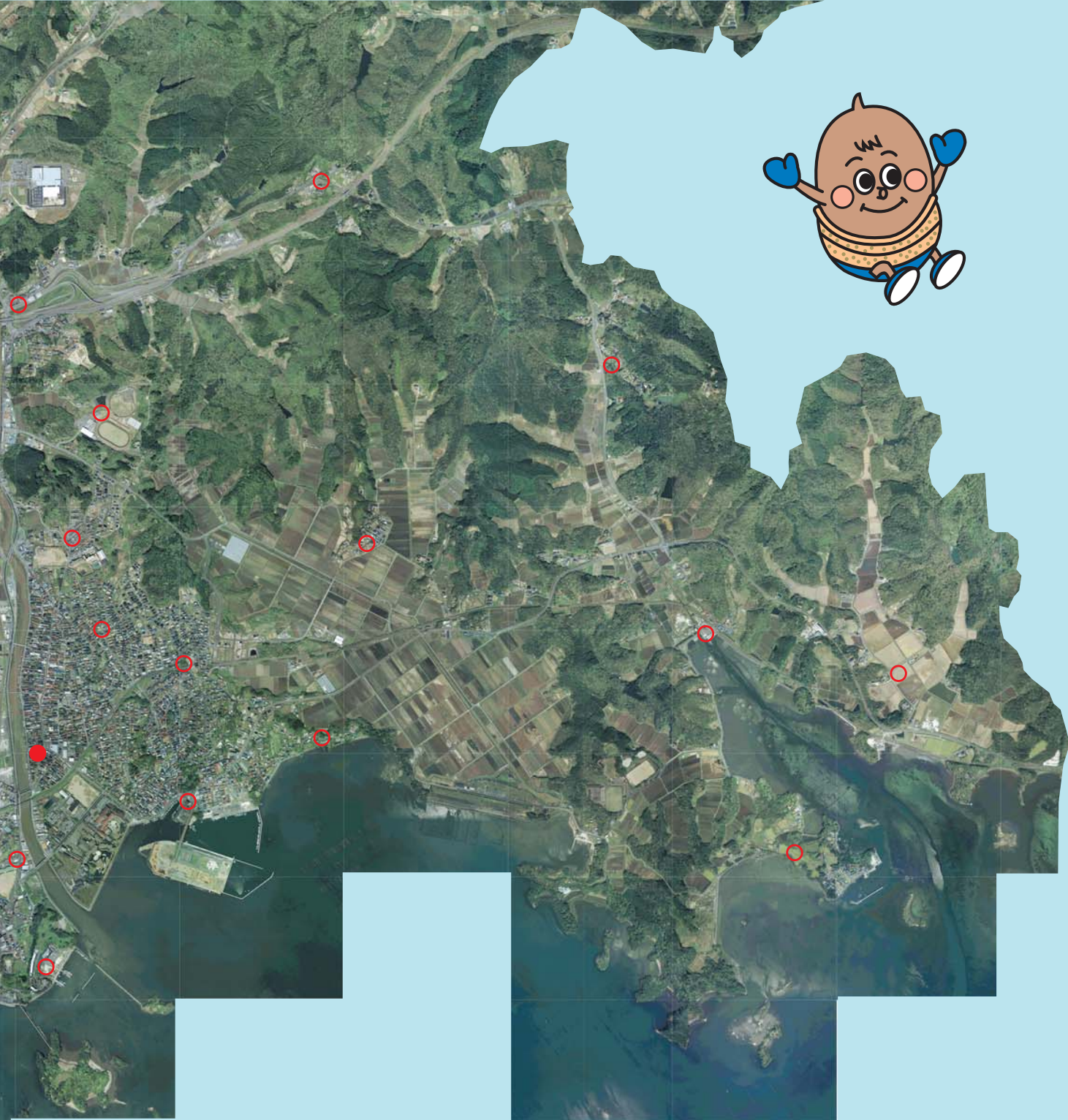
地域を守ることは、
あなた自身の命を守ります。



1 : 20,000

0 500m 1000m 2000m





松島町防災行政無線システム

松島町では災害情報をいち早く防災無線でお知らせしています。

防災行政無線は、地震や津波などの災害情報を皆様に連絡する手段として町内全域に35箇所設置されています。

また、災害時に電話が使用できなくなった場合でも、子局の専用電話と役場で通信することができます。

各行政区長などに配備している移動式無線とあわせて迅速で効率の良い情報収集を行うことができます。

凡 例

- 親局（役場庁舎）
- 防災行政無線設置箇所



地震防災マップとは

地震による被害の軽減のためには、住宅等の耐震化を図ることが大切です。住民の皆様方に発生の恐れがある地震による揺れや建物の被害の可能性をわかりやすく知っていただくため、「地震防災マップ」を作成しました。
このマップは「揺れやすさマップ」と「地域の危険度マップ」からなっています。



揺れやすさマップ

発生の恐れがある地震による揺れやすさを「震度」で地図上に示したものです。ここに示した震度は、地震の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さです。地震の発生の仕方によって揺れが強弱することがあります。

地域の危険度マップ

発生の恐れがある地震による木造建物の被害想定(倒壊率)を地図上に示したものです。地震の発生の仕方によっては、被害状況が大小することがあります。

昭和56年5月以前の旧耐震基準で建築された県内の木造戸建て住宅の約9割が、耐震性に問題があるとされています(宮城県調べ)。

この「地震防災マップ」をご覧ください。該当する住宅等にお住まいの方・所有している方は、ぜひ耐震診断を受け、耐震性に問題があるときは、耐震改修や建替えを検討してください。

耐震改修や
建て替えの
検討を



作成したマップ(想定した地震)

1.「宮城県沖地震(単独型)」によるもの

宮城県沖の日本海溝沿いのプレート境界を震源域とする地震です。県内で大きな被害がでた1978年の宮城県沖地震と同様の場所と規模と考えています。平均で37年に一度、繰り返し起きており、これからの30年間の発生確率は99%といわれています。マグニチュード7.6^{※1}を想定しています。

2.「宮城県沖地震(連動型)」によるもの

宮城県沖の日本海溝沿いのプレート境界を震源域とし、単独型の震源域を含む広い領域を震源域とする地震です。1793年に同様な地震が起きたのではないかと考えられています。次の宮城県沖地震でも起きる可能性があると考えられています。マグニチュード8を想定しています。

3.「長町・利府線断層帯による地震」によるもの

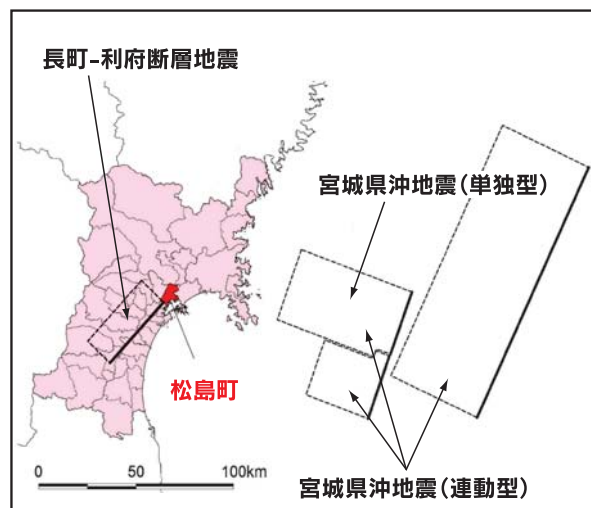
仙台市から利府町にかけて、ほぼ南北に延びる長さ約40kmの活断層です。この断層は、約3000年に一度程度の割合で繰り返し地震を起こしているとされ、最後の活動は約2000年前ではなかったかといわれています。この断層では、マグニチュード7.1の地震を想定しています。

4.「どこでも起こりうる直下の地震」によるもの

2003年宮城県北部連続地震のようなマグニチュード6クラスの場合、地震断層が地表に現れないケースが多いため、過去の活動を調べるのが大変難しいとされています。こうした地震はいつ、どこで起こるかわからないのが実情です。そのため、防災上の可能性として、県内全域にマグニチュード6.9の地震を想定しました。(内閣府の「地震防災マップ作成技術資料」を参考として作成しています。)

5.「想定する4つの地震の最大値」によるもの

1~4の地震による震度のうち最大となる震度を、各地点で想定される最大の揺れ(「揺れやすさ」としました)。



※1 マグニチュード

マグニチュードは、地震の大きさを示す尺度です。マグニチュードが0.2大きくなるとエネルギーは約2倍、1大きくなるとエネルギーは約32倍になります。

配布するマップ

今回、上記5種類のマップのうち、「想定する4つの地震の最大値」によるマップを皆様にお示しします。なお、上記5種類の「揺れやすさマップ」と「地域の危険度マップ」の全てについて、本町の担当窓口又はホームページで閲覧が可能です。

揺れやすさマップとは

揺れやすさマップ

揺れやすさマップは、発生の恐れがある地震による地域揺れやすさを「震度」として評価し、住民の皆様方が自らの居住地を認識できる地図の上に表現したものです。

マップの作成手順

このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、震度(揺れの大きさ)を予測しています。

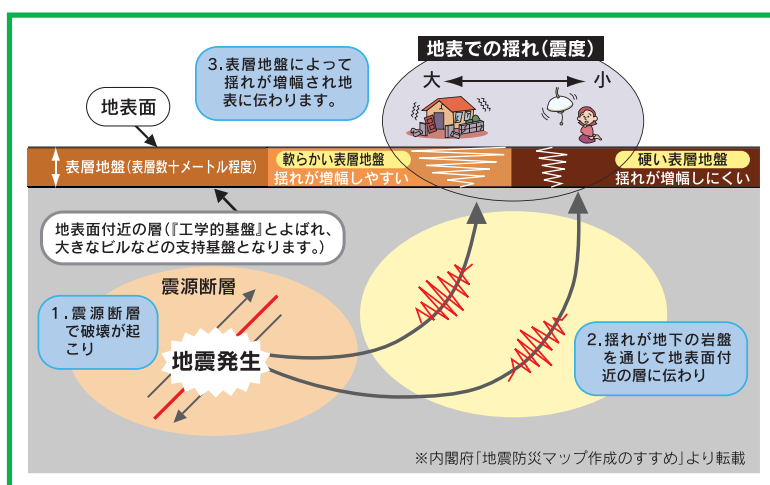
○地域に影響の大きいと考えられる地震(活断層の地震(長町・利府断層による地震)、海溝型地震(宮城県沖地震(単独型、連動型)、どこでも起こりうる直下の地震))を選び、震源となる断層の規模や位置、形状などの情報を設定します。

○それぞれの地震について、地震の規模や震源となる断層までの距離などにより揺れの強さが変わる性質を用いて、「地表面付近(地下の基盤)での揺れの大きさ」を計算します。

○体に感じる「地表での揺れの大きさ(震度)」は、「地表面付近での揺れの大きさ」に「足元(表層の地盤)の揺れやすさ」を加味することで求めることができます。一般に、足元の地盤が軟らかいほど、また軟らかいものが厚く堆積しているところほど、地表面では大きな揺れとなる性質がありますので、「震度」が大きくなります。

○このマップでは、全域を100mメッシュ^{*2}に分割し、地表での震度を詳細に求め、表示しています。

地震の揺れの伝わり方イメージ

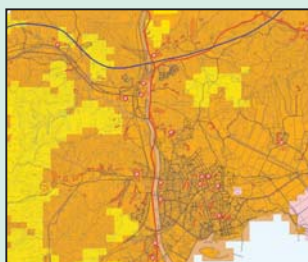


6

宮城県沖地震
(単独型)



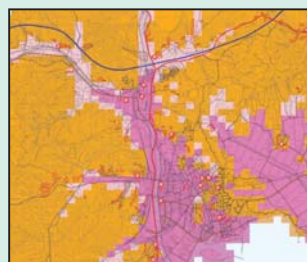
宮城県沖地震
(連動型)



長町ー利府断層
による地震



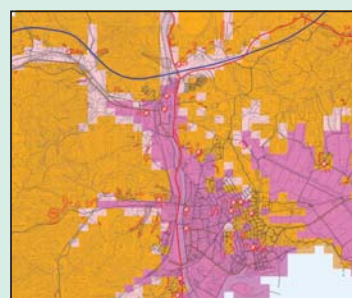
どこにでも起こり
うる直下の地震



*2 メッシュ

メッシュは、囲まれた面積の単位です。つまり100mメッシュとは、東西100m、南北100mの格子で全域を区分しているということです。

重ね合わせ
4つの地震の
最大の震度を採用



揺れやすさマップ
(最大震度分布図)

震度とは何か？

地震が起こったとき、ある場所での揺れの程度を表すのが震度で、気象庁が定めた震度階級によって震度を表しています。従来は震度0から7までの8階級でしたが、平成8年10月からは震度6と5をそれぞれ6弱・6強、5弱・5強に分けて10階級に改訂されました。

また、気象庁が発表する震度は、従来は気象庁の職員が体にしたゆれの強さや周囲の被害状況などから判定していましたが、最近は震度を観測するための「震度計」が設置されるようになり、この震度計の計測値（「計測震度」と言います。）をもとに計算で震度を決めるようになっています。

震度階級	人 間	屋内の状況	屋外の状況	木造建築
0	 人は揺れを感じない。			
1	 屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。			
2	 屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。		
3	 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。	棚にある食器類が、音を立てることがある。	電線が少し揺れる。	
4	 かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。歩いている人も揺れを感じる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。	
5弱	 多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。道路に被害が生じることがある。	耐震性の低い住宅では、壁や柱が破壊するものがある。
5強	 非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。	耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破壊したり、傾くものがある。
6弱	 立っていることが困難になる。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。 耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破壊するものがある。
6強	 立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破壊するものがある。
7	 揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破壊するものがある。	耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。

1978年6月12日に起きた宮城県沖地震は、震度5 (M7.4) を記録し、多くの家屋やブロック塀などが倒壊しました。

地域の危険度マップとは

地域の危険度マップ

地域の危険度マップは、地震による建築物(木造)被害を、その被害の程度に応じてランク別けした上で、地図に表したものです。具体的には、「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れとなった場合に、地盤の液状化^{※1}の影響を含めて、全壊^{※2}程度の被害を受けると想定される建築物(木造)の割合を「危険度」としています。一般に同じ震度でも、古い建物(特に昭和56年以前に建てられた建物)は、被害を受けやすい傾向があります。そのため、古い建物が多い地区では危険度が高くなっていることがあります。

地震による死亡・ケガの原因は何？

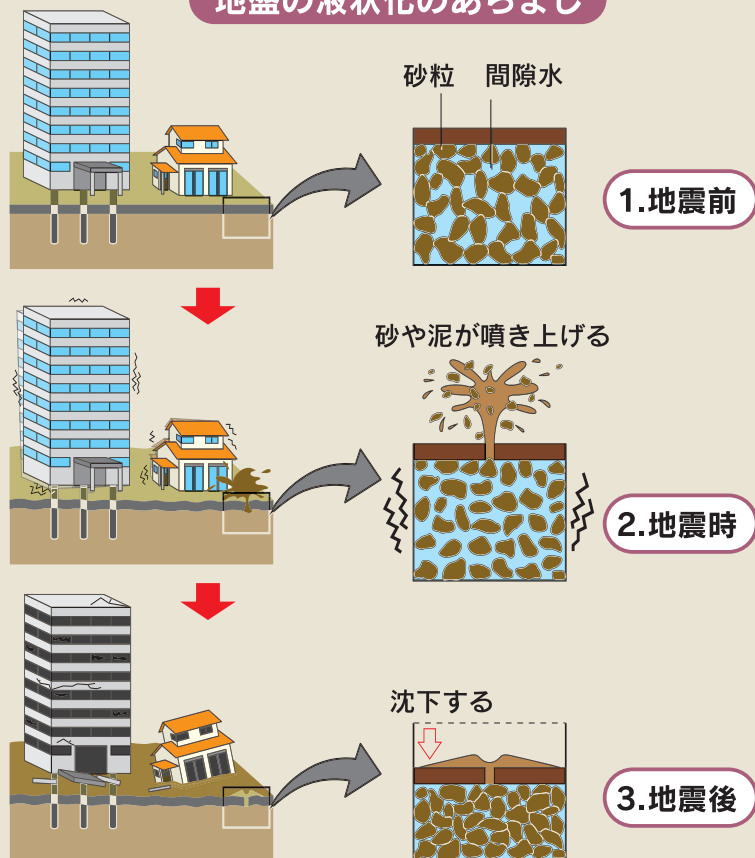
阪神大震災での死者のうちの約8割は地震直後の家具、建物による圧死といわれています。

皆さんの生命・財産を守るためには、住宅・建築物の耐震化が極めて重要です。



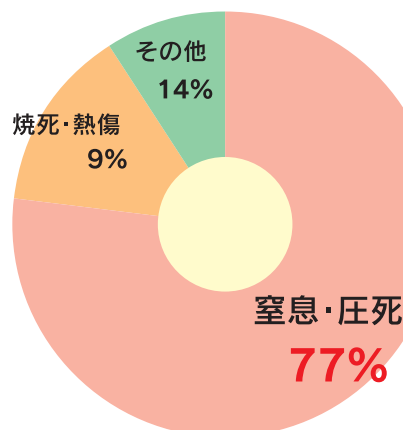
地震によって全壊した葉山神社

地盤の液状化のあらまし



文部科学省「地震がわかる！防災担当者参考用資料」(2006年)から引用

阪神・淡路大震災の死亡原因



出典:「阪神・淡路大震災調査報告総集編」(阪神・淡路大震災調査報告編集委員会, 2000)ほか

※1 地盤の「液状化」とは(左の図)

水分が多く含まれている地盤において、強い地震の揺れにより地中の土の粒の安定が崩れ、地盤が泥水のような状態になることを「液状化」といいます。低地や埋立地などで起こりやすいとされています。場合によっては、泥水が地表に噴き出たりします。地盤の液状化が起これば、地盤の沈下、地中のマンホールの浮き上がり、建築物の傾き・倒壊などの被害が発生することがあります。

無被害



被害が生じていない状態を指します。

一部被害



壁面の亀裂が生じている。外装に若干の剥離がある等の状態を指します。

半壊



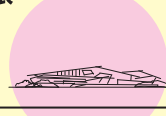
居住のための基本的な機能の一部を失った状態を指します。

全壊



外壁や柱の傾斜が1/20以上である。

居住のための基本的な機能を失った状態を指します。



住宅の全体、もしくは一部の階が全て倒壊している。

※2 「全壊」とは？(左の図)

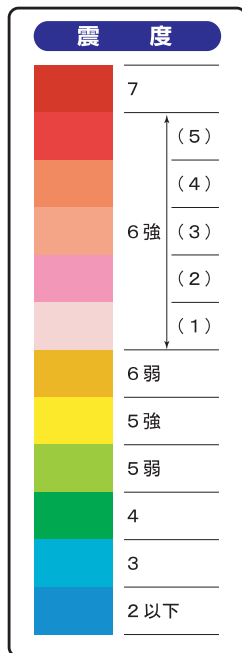
「全壊」とは、台風や地震などの自然災害による建物の被害の程度の中でも、もっとも大きく被害を受けた状態を指します。具体的には平成13年6月に国によって定められた「災害の被害認定基準」の中で「住居がその住居のための基本的機能を喪失したもの」と定義されています。

地震防災マップ

北部地域

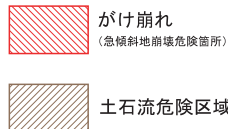
想定する4つの地震の最大値による場合

揺れやすさマップ



※震度6強については、同じ震度階級の中でも、建物被害の程度にかなり幅があるため、揺れの大きさを5段階に分けて表示しています。

土砂災害凡例



道路凡例



大郷町

避

避難所・避難場所

番号	名 称	電話番号	所 在 地
27	旧松島第四小学校	352-2102	竹谷字鳶ヶ沢7-2
28	北小泉下竹谷コミュニティセンター	—	北小泉字芋沢70-1
29	上竹谷生活センター	352-2190	竹谷字沼前34-2
30	松島第五小学校及び体育館	354-2101	幡谷字新田5-1
31	品井沼農村環境改善センター	352-2731	幡谷字鹿渡24-11
32	上幡谷生活センター	352-2800	幡谷字千刈田10
33	根廻公会堂	354-5819	根廻字桐田15-3

【注意点】

- 避難所・避難場所は、地震等の影響や管理上の事情により使用できない場合があります。
- 避難所に避難する時は、役場もしくは行政区長や自主防災組織代表などと連絡を取り、確認した上で行動してください。

1 : 20,000

0 500m 1000m 2000m

大郷町

●この「揺れやすさマップ」は、海溝型の地震（宮城県沖地震（単独型）（連動型））、活断層の地震（長町―利府断層による地震）、どこにでも起こりうる直下の地震（マグニチュード6.9）について、それぞれ震度分布を作成し、100メートルメッシュ毎にその最大となる震度を表現しています。

●このマップは、地域で起こりうる可能性のある最大の震度の目安であり、住民の皆様方の防災活動に役立てていただくためのものです。全域が同時にこの震度になることを表現しているものではありません。

大 崎 市

美 里 町

東
松
島
市

10

東 松 島 市

↑ 北部地域
↓ 南部地域

問合せ先 松島町 建設課

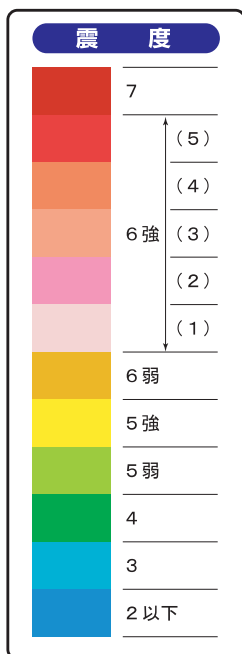
〒981-0215 宮城県松島町高城字町10番地
TEL022-354-5715 FAX022-353-2041
<http://www.town.matsushima.miyagi.jp>

地震防災マップ

想定する4つの地震の
最大値による場合

揺れやすさマップ

南部地域



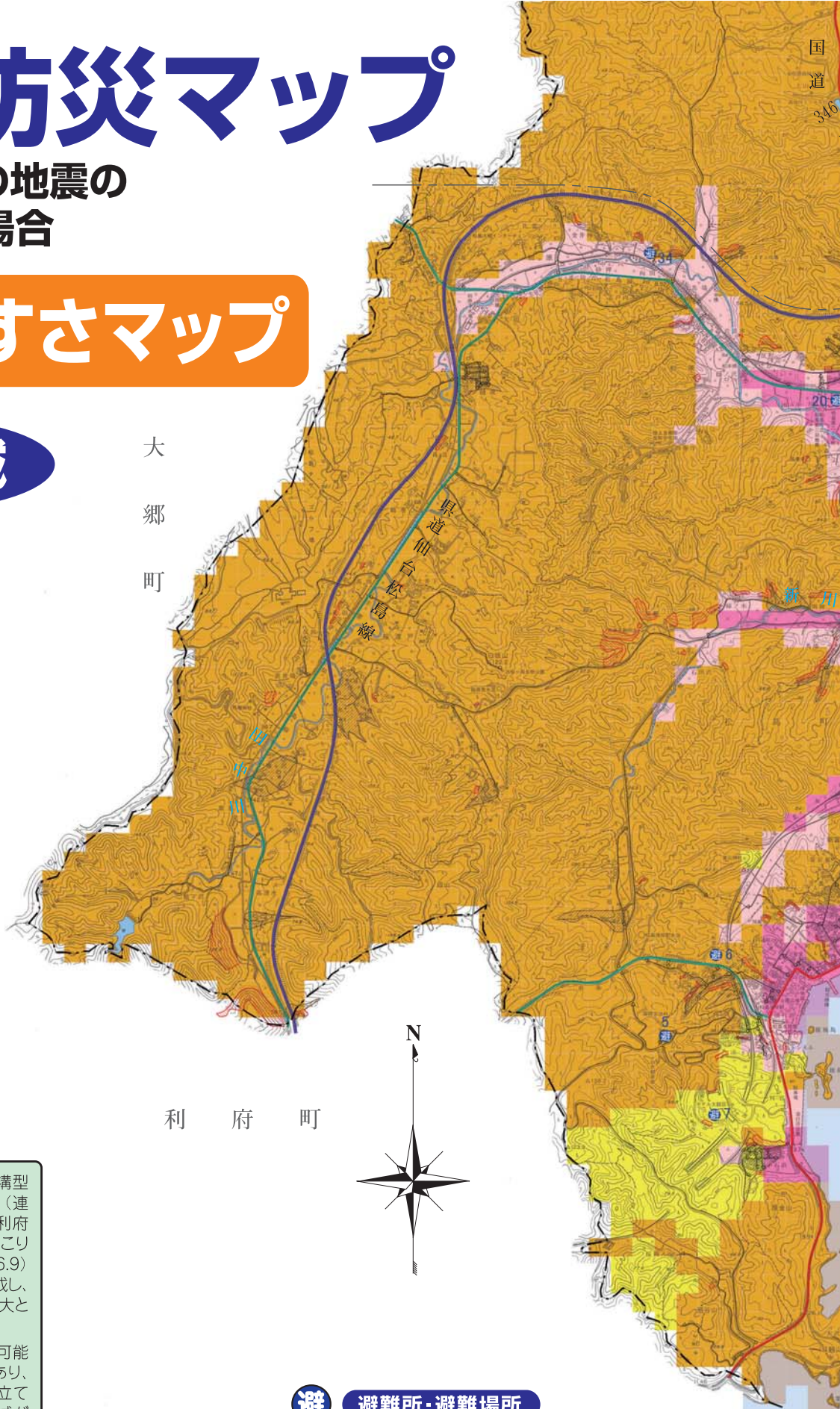
※震度6強については、同じ震度階級の中でも、建物被害の程度にかなり幅があるため、揺れの大きさを5段階に分けて表示しています。

●この「揺れやすさマップ」は、海溝型の地震（宮城県沖地震（単独型）（連動型））、活断層の地震（長町一利府断層による地震）、どこにでも起こりうる直下の地震（マグニチュード6.9）について、それぞれ震度分布を作成し、100メートルメッシュ毎にその最大となる震度を表現しています。

●このマップは、地域で起こりうる可能性のある最大の震度の目安であり、住民の皆様方の防災活動に役立てていただくためのものです。全域が同時にこの震度になることを表現しているものではありません。

問合せ先 松島町 建設課

〒981-0215 宮城県松島町高城字町10番地
TEL022-354-5715 FAX022-353-2041
<http://www.town.matsushima.miyagi.jp>

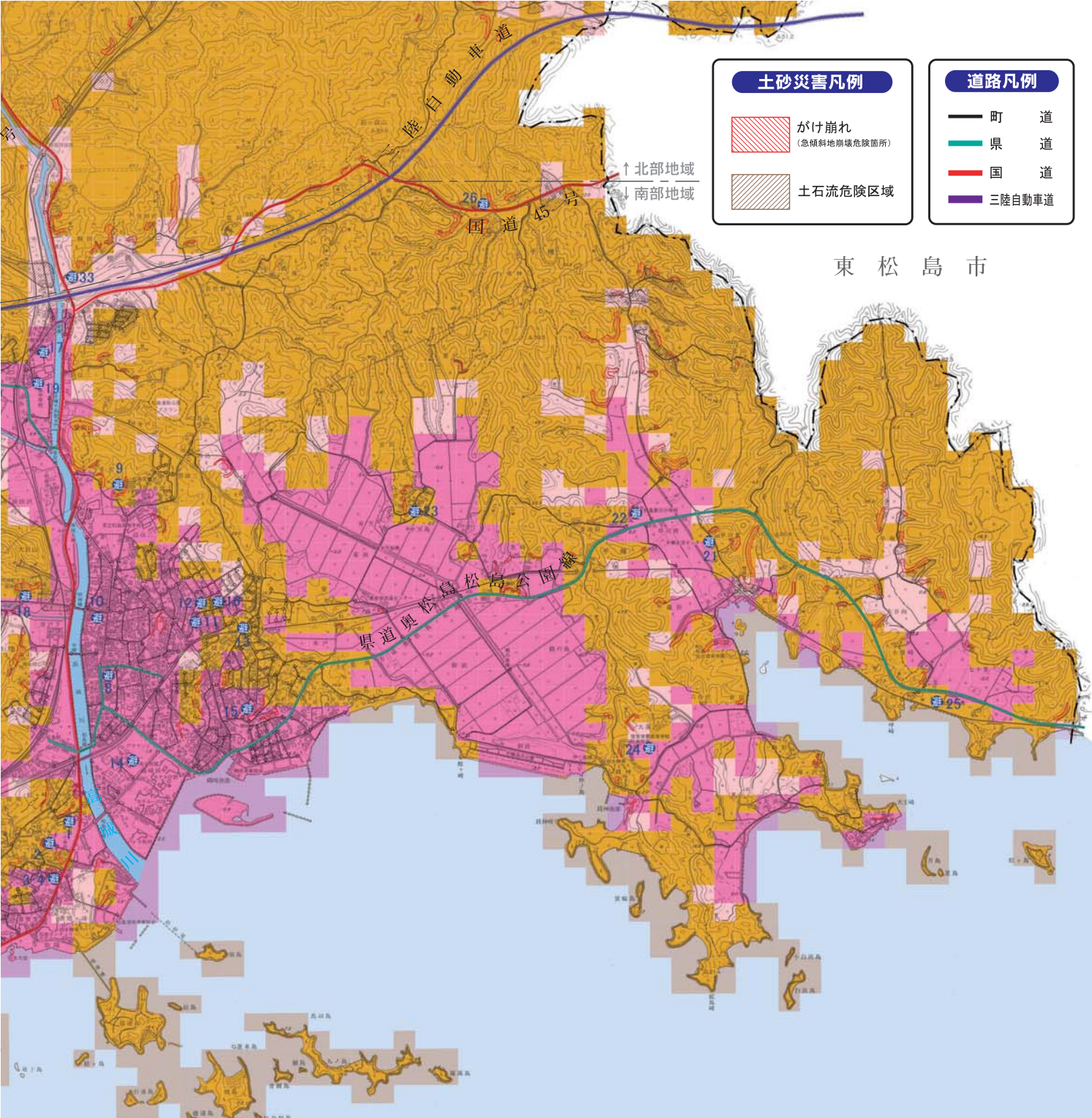


避

避難所・避難場所

番号	名 称	電話番号	所 在 地
1	松島第一小学校	354-2384	松島字道珍浜10
3	垣ノ内支館	—	松島字普賢堂54-14
4	ほほえみの家	353-2125	松島字普賢堂54-14
5	西行戻しの松公園	—	松島字犬田1-1
6	三十刈駐車場及び付近高台	—	松島字三十刈9-1

【注意点】 ●避難所・避難場所は、地震等の影響や管理上の事情



番号	名 称	電話番号	所 在 地
12	華園集会所及び公園	353-2788	磯崎字華園地113
13	白萩会館	354-3644	磯崎字白萩164-1
14	松島町中央公民館及びグラウンド	353-3030	磯崎字浜1-2
15	夕陽が丘児童公園	—	磯崎字夕日丘9・10
16	華園ふれあい広場	—	磯崎字華園1
17	第二町民体育館	354-5384	高城字三居山一6
18	明神地区コミュニティ消防センター	354-3937	高城字明神二9
19	松島中学校	354-3309	高城字三居山一6-1
20	松島第二小学校及び体育館	354-2456	高城字反町五14
21	手樽生活センター	354-3730	手樽字早川東14-3
22	旧松島第三小学校	354-2041	手樽字釜地前1-1
23	手樽ひだまりの家	353-3171	手樽字元手樽43-3
24	旧仙台育英学園研修センター	—	手樽字大蓬沢13-1
25	古浦多目的集会所	—	手樽字七十里59
26	左坂支館	—	手樽字左坂33-1
34	初原コミュニティセンター	—	初原字の場21-14

番号	名 称	電話番号	所 在 地
7	ホテル大観荘駐車場	—	松島字犬田10-76
8	高城公会堂	—	高城字町164
9	県立松島高校	354-3307	高城字迎山三5
10	勤労青少年ホーム	354-4036	高城字町71
11	高城保育所	354-2509	磯崎字白坂25-4

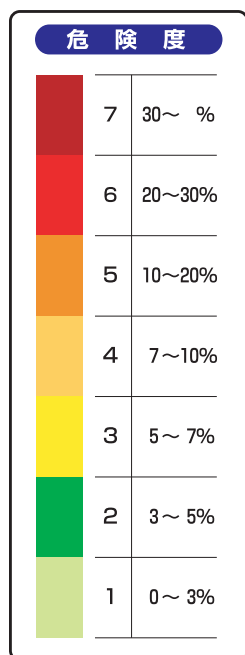
青により使用できない場合があります。 ●避難所に避難する時は、役場もしくは行政区長や自主防災組織代表などと連絡を取り、確認した上で行動してください。

地震防災マップ

北部地域

想定する4つの地震の最大値による場合

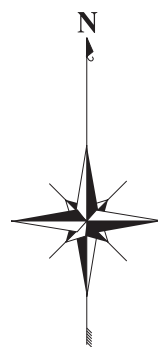
地域の危険度マップ



土砂災害凡例



道路凡例



大
郷
町

避

避難所・避難場所

番号	名 称	電話番号	所 在 地
27	旧松島第四小学校	352-2102	竹谷字鳶ヶ沢7-2
28	北小泉下竹谷コミュニティセンター	—	北小泉字茅沢70-1
29	上竹谷生活センター	352-2190	竹谷字沼前34-2
30	松島第五小学校及び体育館	354-2101	幡谷字新田5-1
31	品井沼農村環境改善センター	352-2731	幡谷字鹿渡24-11
32	上幡谷生活センター	352-2800	幡谷字千刈田10
33	根廻公会堂	354-5819	根廻字桐田15-3

【注意点】

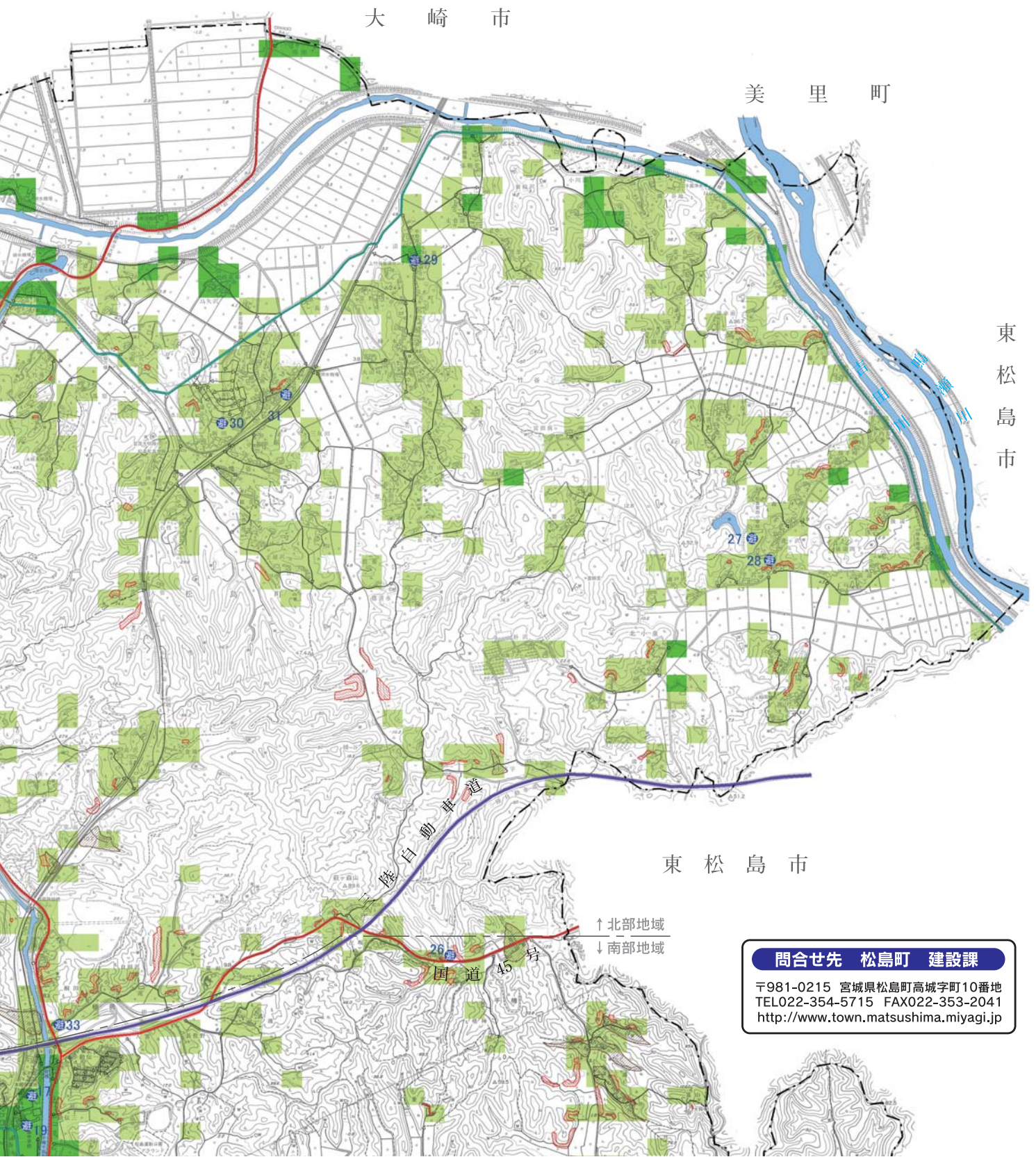
- 避難所・避難場所は、地震等の影響や管理上の事情により使用できない場合があります。
- 避難所に避難する時は、役場もしくは行政区長や自主防災組織代表などと連絡を取り、確認した上で行動してください。

1 : 20,000

0 500m 1000m 2000m

大
郷
町

- この「地域の危険度マップ」は、地域が揺れやすさマップ(想定する4つの地震のうち最大の震度)において示された強さ(震度)の揺れとなった場合に、地盤の液状化の影響を含めてどの程度の建物被害(全壊相当)が生じるかを100メートルメッシュ毎に評価し、相対的に表示したものです。
- 防災上の可能性として、地域で発生する可能性のある最大の被害状況の目安を示したものであり、住民の皆様方の防災活動に役立てていただくためのものです。全域が同時にこのような被害となることを表現しているものではありません。



問合せ先 松島町 建設課

〒981-0215 宮城県松島町高城字町10番地
TEL022-354-5715 FAX022-353-2041
<http://www.town.matsushima.miyagi.jp>

地震防災マップ

想定する4つの地震の最大値による場合

地域の危険度マップ

南部地域

大
郷
町

利
府
町

危険度

7	30～ %
6	20～30%
5	10～20%
4	7～10%
3	5～7%
2	3～5%
1	0～3%

●この「地域の危険度マップ」は、地域が揺れやすさマップ(想定する4つの地震のうち最大の震度)において示された強さ(震度)の揺れとなった場合に、地盤の液状化の影響を含めてどの程度の建物被害(全壊相当)が生じるかを100メートルメッシュ毎に評価し、相対的に表示したものです。

●防災上の可能性として、地域で発生する可能性のある最大の被害状況の目安を示したものであり、住民の皆様方の防災活動に役立てていただくためのものです。全域が同時にこのような被害となることを表現しているものではありません。

問合せ先 松島町 建設課

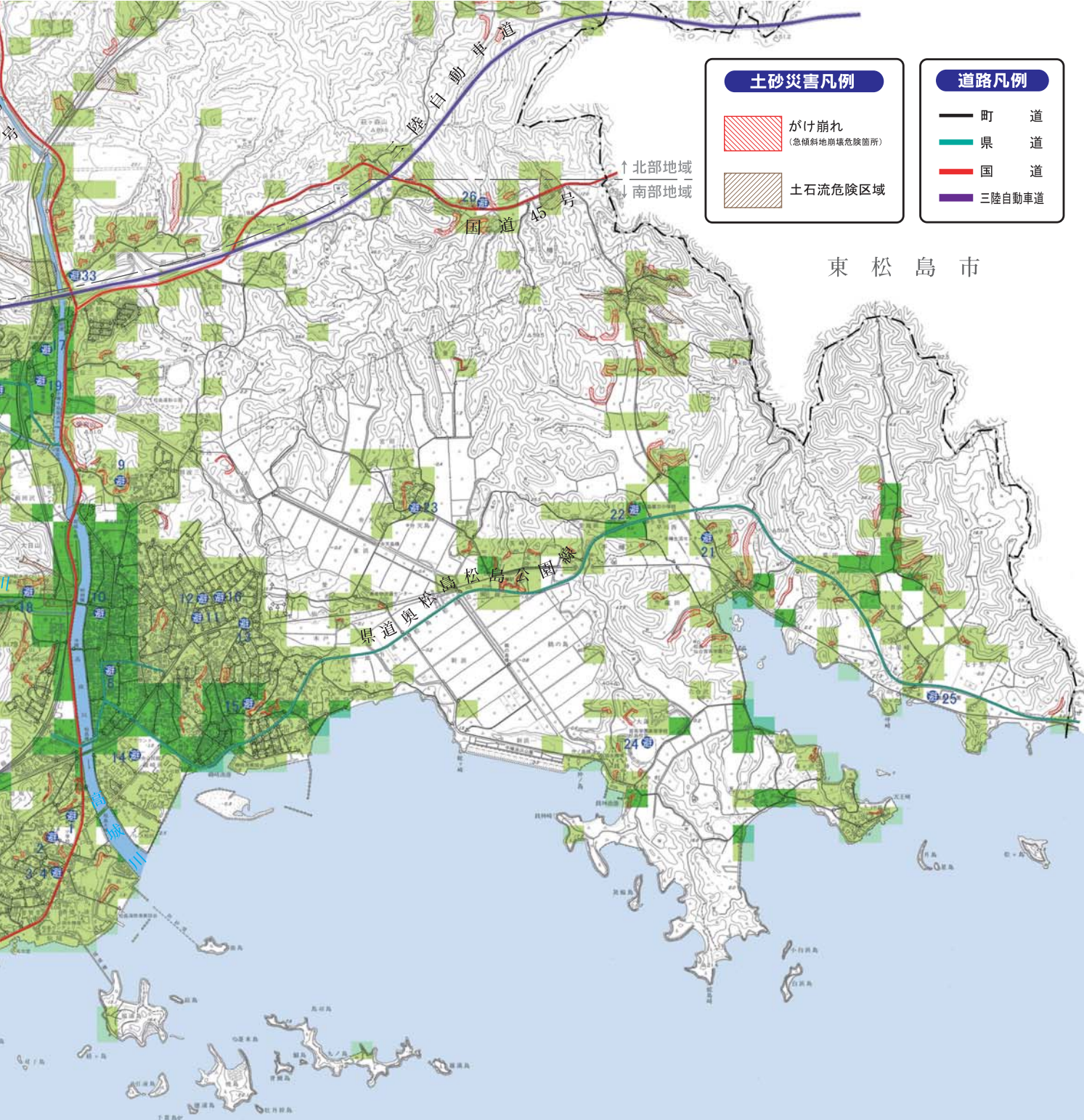
〒981-0215 宮城県松島町高城字町10番地
TEL022-354-5715 FAX022-353-2041
<http://www.town.matsushima.miyagi.jp>

避難

避難所・避難場所

番号	名 称	電話番号	所 在 地
1	松島第一小学校	354-2384	松島字道珍浜10
3	垣ノ内支館	—	松島字普賢堂54-14
4	ほほえみの家	353-2125	松島字普賢堂54-14
5	西行戻しの松公園	—	松島字犬田1-1
6	三十刈駐車場及び付近高台	—	松島字三十刈9-1

【注意点】 ●避難所・避難場所は、地震等の影響や管理上の事情



16

番号	名 称	電話番号	所 在 地
12	華園集会所及び公園	353-2788	磯崎字華園地113
13	白萩会館	354-3644	磯崎字白萩164-1
14	松島町中央公民館及びグラウンド	353-3030	磯崎字浜1-2
15	夕陽が丘児童公園	—	磯崎字夕日丘9・10
16	華園ふれあい広場	—	磯崎字華園1
17	第二町民体育館	354-5384	高城字三居山一6
18	明神地区コミュニティ消防センター	354-3937	高城字明神二9
19	松島中学校	354-3309	高城字三居山一6-1
20	松島第二小学校及び体育館	354-2456	高城字反町五14
21	手樽生活センター	354-3730	手樽字早川東14-3
22	旧松島第三小学校	354-2041	手樽字釜地前1-1
23	手樽ひだまりの家	353-3171	手樽字元手樽43-3
24	旧仙台育英学園研修センター	—	手樽字大蓬沢13-1
25	古浦多目的集会所	—	手樽字七十里59
26	左坂支館	—	手樽字左坂33-1
34	初原コミュニティセンター	—	初原字の場21-14

番号	名 称	電話番号	所 在 地
7	ホテル大観荘駐車場	—	松島字犬田10-76
8	高城公会堂	—	高城字町164
9	県立松島高校	354-3307	高城字迎山三5
10	勤労青少年ホーム	354-4036	高城字町71
11	高城保育所	354-2509	磯崎字白坂25-4

情により使用できない場合があります。 ●避難所に避難する時は、役場もしくは行政区長や自主防災組織代表などと連絡を取り、確認した上で行動してください。

津波による浸水想定マップとは

津波による浸水想定マップ

最近多発している地震により、津波の懸念が拡大しています。特に発生確率が高まっている宮城県沖地震にともなう津波の被害が心配されています。

津波被害を最小限にするために、このマップをご活用ください。

津波は、一時的な破壊衝撃と二次的な浸水被害が起る危険な災害です。特に沿岸の低地では日頃から注意が必要です。



チリ地震津波により倒壊した家屋(女川町の様子)

津波とは…

津波のほとんどは海域で大地震が発生することにより発生します。地震により海底地盤が広範囲にわたって破壊され、急激な海底の上下運動により海面の凹凸が生じ、それが津波となって伝えます。また、まれに海底地滑りや火山噴火に伴い、大量の土砂やマグマが海底にすべり落ちることにより海水が変動し、津波となって襲ってくることもあります。

松島町に一番関係のある津波とは

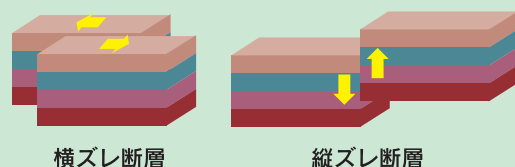
三陸沖では、日本列島を乗せている北米プレートの下に太平洋プレートがもぐり込み、北米プレートが引きずり込まれています。北米プレートの変型が限界に達すると元の形状に戻ろうとして跳ね上がります。これが地震、そして津波の原因です。



津波の発生原因となる断層の基本的な型

津波の規模は海底地盤の壊れ方によって決まります。地震により地表面に現われた地盤のずれを断層と呼びますが、ずれの長さ、ずれの幅、ずれの角度、ずれの速度等が津波の規模を決める大きな要因となります。また、実際の地震では、横ずれ型と縦ずれ型が組み合わさって現われますが、縦ずれ成分が大きい程大きな津波が発生します。

断層の基本的な型イメージ



地形による津波の変化

津波は海岸付近の地形の影響を強く受けます。特に津波のエネルギーが集中しやすい岬や湾奥では津波の高さが高くなりやすく、海岸付近の数倍にもなることがあります。湾奥での津波の高さは湾の形によって異なり、湾の形を大きくV字型、U字型、直線海岸、袋型の4つに大きく分けると、袋型から直線海岸、U字型、V字型の順に次第に高くなる傾向があります。

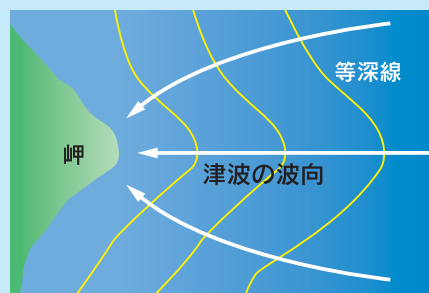
地形による津波の高さ



岬の先端では、遠浅の海域地形が沖に向かって舌状に突き出しています。

津波は、浅い海域ほど遅く伝わるので、浅い海域を巻き込むような方向に進行が曲げられます。したがって岬の先端でエネルギーの集中が起こり津波が高くなり、これを屈折効果と呼んでいます。

【津波の屈折効果】



松島町津波による浸水想定マップの作成手順

津波・高潮による浸水被害を想定しています。

昭和35年のチリ地震津波による各地区の浸水域と、今後発生が予想されている宮城県沖地震(連動型)による津波により予想されている浸水域について表示しています。

宮城県沖地震による津波の予想浸水域につきましては、現在整備されている防波堤や水門等の施設が十分に機能しなかった場合を想定して計算したものです。震源の位置や不確定要因などを考慮した場合、浸水の恐れのある区域は表示した区域よりも広範囲になる可能性があります。

チリ地震津波

1960年5月22日
19時11分(日本時間: 昭和35年5月23日4時11分)にチリ沿岸で発生した巨大地震で、マグニチュードは8.5で、世界でも最大級の地震でした。この地震により発生した大規模な津波はチリの海岸だけにとどまらず、広く太平洋全域に伝播してハワイ、ロサンゼルス、日本、その他各地で大きな被害が生じました。



チリ地震による津波(旧雄勝町の様子)

宮城県沿岸部の津波予測マップ

宮城県沖地震(連動型)



津波予報と津波警報

地震後に気象庁が地震の大きさや規模、震源の位置などから津波の高さや到達時間等を予測し発表するもので、一定の大きさ以上になる場合に警報が出されます。

松島町では、防災行政無線を町内35箇所に設置して、津波及び災害警報を迅速にお知らせしています。

また、観光客に対しては、迅速に避難場所を知らせるために、松島地区に津波避難誘導看板を設置しています。



松島地区にある津波避難場所の看板



災害注意を呼びかけるスピーカー

津波から身を守るために

津波のスピードは想像以上に速い

「津波注意報」や「津波警報」が間に合わないくらい速くくることがあります。迅速な行動が大切です。

小さな揺れでも油断は禁物

震度(揺れ方)とマグニチュード(規模)は別です。小さな揺れでも大津波を起す可能性があります。

引き潮がなくても津波を警戒

津波の前兆として、引き潮があるとは限りません。震源や地震の種類によっては引き潮が起きないこともあります。

津波は繰り返し襲ってくる

津波は2回3回と繰り返し襲ってきます。1回目のあと安心して、波が落ち着くまで注意しましょう。

海岸を離れなるべく高い場所へ

より遠くよりも、「できるだけ高い」場所へ避難しましょう。

正しい情報で冷静な行動を

「注意報」でもすぐに避難行動をとり、ラジオやテレビ、防災無線などで正しい情報を得るようにしましょう。



**迅速に
冷静に!**

津波による 浸水想定マップ

海岸部周辺

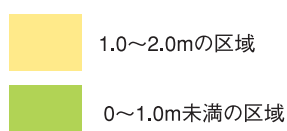
土砂災害凡例



道路凡例



浸水深ランク区分



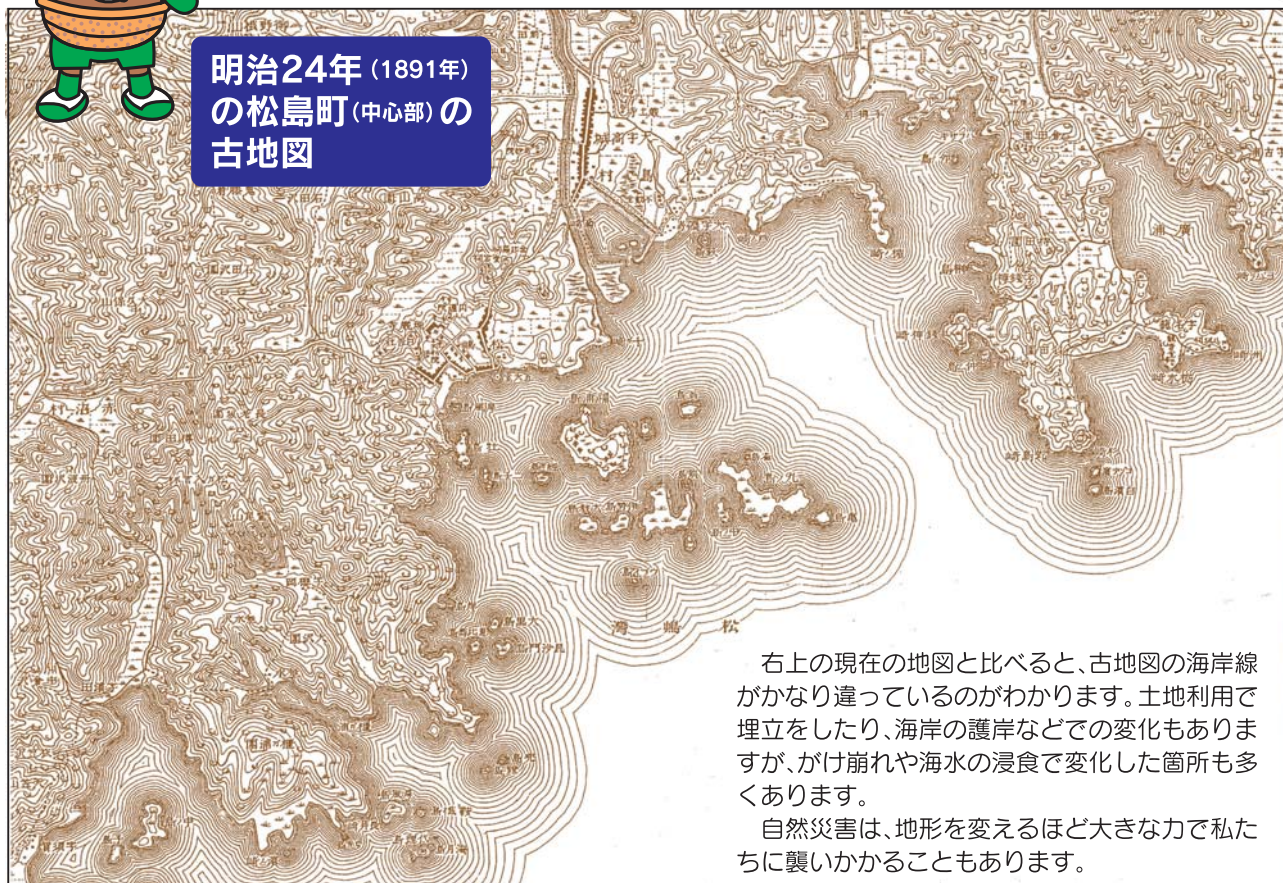
利府町

19



昔の松島だよ！

明治24年(1891年)
の松島町(中心部)の
古地図



右上の現在の地図と比べると、古地図の海岸線がかなり違っているのがわかります。土地利用で埋立をしたり、海岸の護岸などでの変化もありますが、がけ崩れや海水の浸食で変化した箇所も多くあります。

自然災害は、地形を変えるほど大きな力で私たちに襲いかかることもあります。

避

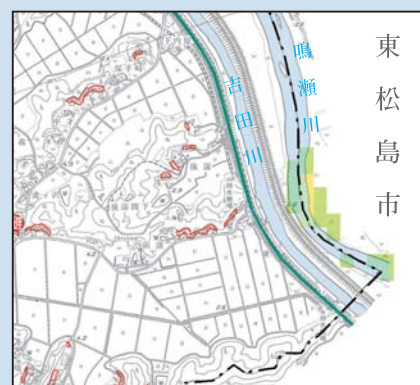
避

番号	
1	松島第
2	第一町
3	垣ノ内
4	ほほえ
5	西行房
6	三十ノ
7	ホテル
8	高城公
9	県立松
10	勤労青
11	高城保
12	華園集
13	白萩公
14	松島町
15	夕陽公
16	華園公
17	第二町
18	明神地
19	松島中



※宮城県地震被害想定調査に関する報告書による（平成16年3月）

吉田川・鳴瀬川合流付近



東松島市

1 : 20,000

0 500m 1000m 2000m

避難所・避難場所

名 称	電話番号	所 在 地
第一小学校	354-2384	松島字道珍浜10
町民体育館	354-5389	松島字陰ノ浜1
内支館	—	松島字普賢堂54-14
えみの家	353-2125	松島字普賢堂54-14
美しの松公園	—	松島字犬田1-1
別荘駐車場及び付近高台	—	松島字三十刈9-1
大観荘駐車場	—	松島字犬田10-76
公会堂	—	高城字町164
松島高校	354-3307	高城字迎山三5
青少年ホーム	354-4036	高城字町71
保育所	354-2509	磯崎字白坂25-4
集会所及び公園	353-2788	磯崎字華園地113
会館	354-3644	磯崎字白萩164-1
中央公民館及びグラウンド	353-3030	磯崎字浜1-2
が丘児童公園	—	磯崎字夕日丘9・10
ふれあい広場	—	磯崎字華園1
町民体育館	354-5384	高城字三居山一6
区コミュニティ消防センター	354-3937	高城字明神二9
中学校	354-3309	高城字三居山一6-1

番号	名 称	電話番号	所 在 地
20	松島第二小学校及び体育館	354-2456	高城字反町五14
21	手樽生活センター	354-3730	手樽字早川東14-3
22	旧松島第三小学校	354-2041	手樽字釜地前1-1
23	手樽ひだまりの家	353-3171	手樽字元手樽43-3
24	旧仙台育英学園研修センター	—	手樽字大蓬沢13-1
25	古浦多目的集会所	—	手樽字七十里59

※他に、瑞巖寺境内付近、田町歩道橋やホテルなど高い所に逃げてください。

【注意点】

- 避難所は、状況によって使用できなくなる可能性があります。浸水想定区域マップにとらわれないよう、注意して行動しましょう。
- 避難所は原則として、避難勧告発令時に開放します。しかし、より緊急性が高い場合には、行政区長や自主防災組織代表などが判断し、その地域の避難所を開放します。自主避難される方は、役場もしくは行政区長などに連絡してください。

問合せ先 松島町 総務課

〒981-0215 宮城県松島町高城字町10番地
TEL022-354-5782 FAX022-354-3140
<http://www.town.matsushima.miyagi.jp>

風水害(土砂災害)対策

集中豪雨が目立ってきましたが、浸水や洪水はどんなとき起るのでしょうか。予防や対策を考えてみましょう。



1 気象状況に注意し、早めに対応を。

水害や土砂災害の多くは、雨が原因です。

■大雨が降り出したら

- 降水量がどのくらいなのか注意する。
- 長期間降っていれば災害を予想しよう。
- 部分的(ゲリラ的)降雨は災害をおこします。
- 河川の水位上昇、泥水が流れてきたら避難を考えよう。
- 当マップで表示の「がけ崩れ」「土石流区域」をよく調べよう。



土砂災害の多くは雨が原因で起ります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら充分な注意が必要です。

■洪水のときの避難方法

- 避難場所、避難所を当マップで確かめよう。
- 近所の人たちと集団で避難しよう。この時、自分の居場所と位置関係を確認しよう。
- 避難場所及び避難所のルートを選定では、浸水の恐れがある土地や災害発生危険地を通行することは危険です。
- 狭い道、川べり、建物のそばも危険です。

自然災害は突然起こります。そんなときにパニックにならないために、平常時に本マップで緊急時の避難経路や避難場所を家族で話し合っておきましょう。



気象情報では、よく「1時間雨量○mm」「風速○m」という表現が出てきます。そのときの雨や風の強さが具体的にはどのようなものか、イメージしてみましょう。



(以下は気象庁資料を参考にして作成)

雨の強さと降り方

1時間雨量:mm

10以上～20mm未満	20以上～30mm未満	30以上～50mm未満	50以上～80mm未満	80mm以上～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

平均風速:m/秒

10以上～15m未満	15以上～20m未満	20以上～25m未満	25m以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

松島町防災行政無線システム

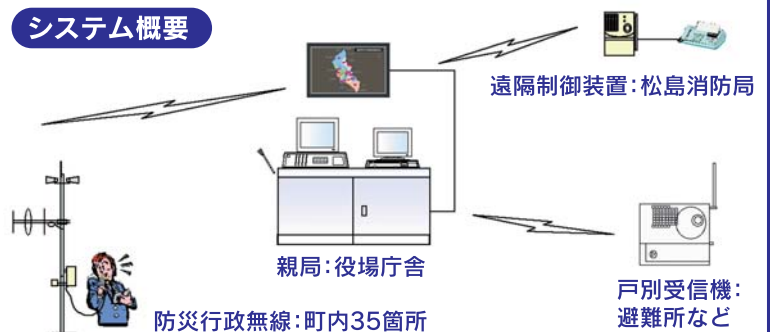
松島町では災害情報をいち早く防災無線でお知らせしています。

防災行政無線は、地震や津波などの災害情報を皆様に連絡する手段として、町内全域に35箇所設置されています。

また、災害時に電話が使用できなくなった場合でも、子局の専用電話と役場で通信する事ができ、迅速な情報収集を行うことができます。

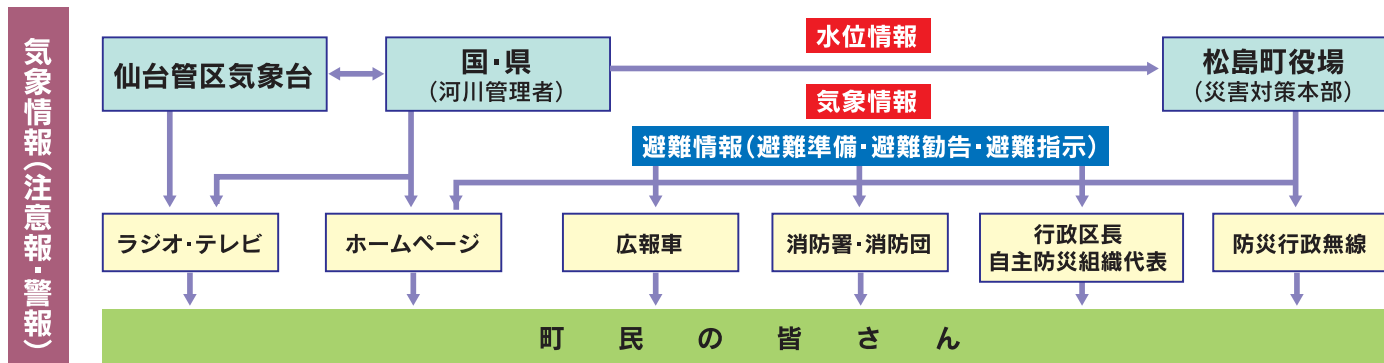
なお、防災行政無線からの放送は、強風や風などの気象条件や建築物などの周辺環境に影響されやすいため、屋内で流れる放送とは異なり、場所によって聞き取りにくい面があります。さらに、屋内でも住宅の遮音性の向上により、聞こえない、若しくは聞き取りにくい状況が生じます。

システム概要



2 洪水情報をキャッチしましょう。

気象の異常に対して下図のフローで皆さんへ伝達されます。



※情報が無くても、異常気象(雷雨や異常な降雨)を感じたときは、避難の準備が必要です。危険を感じたときは、速やかに避難しましょう。

洪水注意報(気象庁)

洪水によって災害が起こる恐れがある場合、その旨を注意して行う予報。

洪水警報(気象庁)

洪水によって災害が起こる恐れがある場合、その旨を警告して行う予報。

指定河川洪水予報等

鳴瀬川、吉田川(流域面積が広い)については、気象庁の予測する降水量をもとに、河川を管理する国土交通省が河川水位の危険度を予測し、「洪水予報」を発表します。

高城川については、水位情報周知河川に指定されており、避難判断水位に達したとき宮城県が、「避難判断水位到達情報」を発表します。

高潮予報・高潮警報

高潮予報とは、台風等による海面の異常上昇について気象庁長官が行う予報で、高潮警報とは、重大な災害が起こる恐れがある場合にその旨を警告する予報です。



昭和61年8月5日豪雨洪水の様子

22

避難情報の種類

避難準備情報

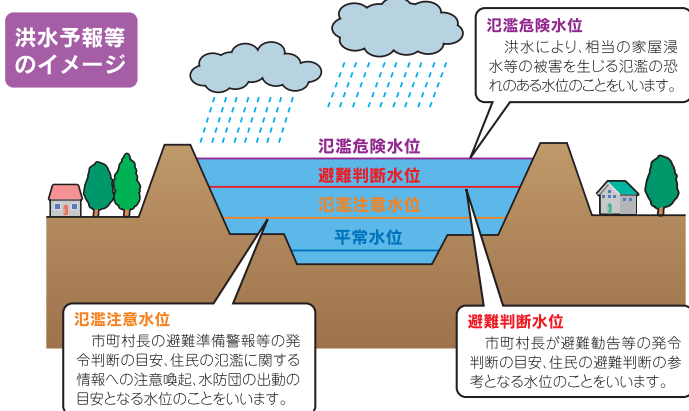
高齢者など、避難行動に時間がかかる方は、早めに避難場所への移動を始めましょう。一般の方は家族と連絡。非常持出品の準備、避難行動の準備を始め、テレビやラジオなどの気象情報に十分注意しましょう。

避難勧告

川の水量が増え、氾濫が起こる可能性が高まっているので、一般の方も早めに避難場所への移動を始めましょう。

避難指示

川の水が溢れたり、堤防が壊れたりするような浸水被害が迫っているため、すぐに避難場所へ移動しましょう。



避難にあたっての留意事項

- ◎浸水想定区域図で、自宅と避難場所を確認してください。注意事項もよく読んでください。
- ◎自宅と避難場所が近い場合でも、行く途中に危険箇所がある場合は、注意が必要です。他の避難場所を探しましょう。
- ◎確認のために役場や避難場所、近所と連絡を取りましょう。
- ◎避難する場合、「非常持出品の準備」34ページをチェックしましょう。



昭和61年8月5日豪雨洪水の様子

3 土砂災害に気をつけましょう。

災害の前ぶれを見逃すな。

■地すべり

地面は、硬さや性質のちがう土や石が、何層にも積み重なってできています。地下水が粘土のようなすべりやすい層にしみこんだり、地下水がたまりやすい所ができていたりして、そこから上の地面が浮き上がってすべりだすのが地すべりです。

特徴 地すべりの動きは、ふだんは1日に数ミリメートルとゆっくりですが、とつぜんスピードが増すことがあります。広い範囲で地面がすべり、押し出された土砂や地面の移動によって、家や道路がこわされたりします。

■がけ崩れ

がけ崩れは、斜面が突然崩れ落ちる災害で、崩れた土砂は、斜面の高さの2倍くらいの距離までとどくことがあります。

特徴 がけ崩れは、地震や、大雨や長雨で地面に水がしみこんで起きますが、前ぶれがあまりなく突然起き、スピードが速いことなどです。家の近くで起きると、家が壊されたり大切な人命が失われたりします。危ないと感じたら、できるだけ早く避難する心がまえが大切です。

■土石流

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などの大量の水といっしょになって、津波のようにおそってくるものを、土石流といいます。

特徴 土石流の先頭の部分は、大きな石や岩、流木などが集まり小山のようにもり上がっています。早さは時速20kmから40kmと、自動車なみのスピードで、中には巨大岩が混じったものもあり、すさまじいいきおいで、あっという間に家や田畑をつぶし、押し流してしまいます。そのため人命にかかわる大きな災害が多いのです。

土石流は、急な谷川があるところや、谷の出口にある「扇状地」とよばれる土地でよく起こります。

前ぶれ

- 地面にひび割れができた。
- 地面が陥没している。
- 沢水や井戸水に濁りがある。
- 小さなひび割れが沢山できた。



前ぶれ

- 小石が落ちてきた。
- 崖から水が吹き出した。
- 各所にひび割れができた。



前ぶれ

- 山の方でドーンと音がした。
- 川の水が急に少なくなった。
- 川に木が流れてきた。
- 川の水が濁ってきた。



土石流は速度が速いため、流れを背にしたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。

浸水被害を最小限に

●日頃から家族で話し合いを

あらかじめ各施設の浸水予想区域をチェックし、避難場所を下見しておくほか、避難するときのルート、離ればなれになった時の連絡の取り方などを、家族全員で決めておきましょう。

●地域でお年寄りのサポートを

自分の家族や住まいだけでなく、地域全体に目を向けて、対策を立てましょう。特に1人暮らしのお年寄りには、地域の皆さんで気を配り、避難方法などについて対策を立てましょう。



突然の水害！その時にあわてないために

●気象情報に注意

台風や大雨の時は気象情報をこまめにチェック。状況に応じて浸水などの具体的な状況を見極め、避難の必要がある場合は速やかに行動しましょう。

●水害体験を参考に

古くから川の近くに住んでいる人に、浸水の水害体験などを聞いておくと、対策を立てる上でとても参考になります。

●物はなるべく高いところに

オーディオ機器などの精密電機製品・貴重品類・水に濡れると困る物は、日頃から棚の上などのできるだけ高い場所に置くようにしましょう。特に流出すると危険な薬物類は2階などに。濡れると使いものにならない畳は、浸水が迫ってきたら、高い場所に上げましょう。

ゲリラ豪雨

ゲリラ豪雨とは、集中豪雨の別名で、限られた地域に対して短時間に多量に雨が降ることを言います。おおむね直径10kmから数十kmの範囲に時間雨量50ミリを超える雨で、台風などと異なり予測が困難で、地形によっては土石流・地すべり・崖崩れなどの土砂災害、洪水などの被害がおきやすい雨です。

一般に市街地における排水能力は時間雨量50ミリ前後を想定していて、これを超える場合には内水氾濫（堤防で守られた内側にある排水路などが溢れること）が起きやすいと言われています。



浸水想定区域図とは

松島町浸水想定区域図

「浸水想定区域図」は、台風や豪雨による大雨(降水量)から、鳴瀬川・吉田川・高城川・田中川・新川が氾濫した場合に想定される浸水状況(河道の整備やダムによる洪水調節を勘案して仮想計算)を表わしました。想定に当っては、支川・派川の氾濫、予想を越える降雨、内水による氾濫を考慮していません。よって、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深と異なる場合があります。雨量強度の設定は、過去におけるデータを基に地域毎・年度確率で設定して作成しています。

高潮については、過去の被害地を表示しています。

浸水しないとされた地域でも、決して安心しないでください。

浸水ランクの目安

5.0m以上の区域	
2.0～5.0m未満の区域	1階の窓から2階の窓まで浸水
1.0～2.0m未満の区域	1階の窓まで浸水
0.5～1.0m未満の区域	大人の腰までつかる程度
0.5m未満の区域	大人の膝までつかる程度



松島町浸水想定区域図の作成にあたって、おおよそ次ぎのような状況を想定しています。

河川別降雨量の規模と発生確率

河川名	降雨量 想定	発生確率
鳴瀬川	流域における降雨量が2日間で312mm	100年
吉田川	流域における降雨量が2日間で335mm	100年
高城川	流域における降雨量が1日で195mm、1時間当り70mm	50年
田中川・新川	流域における降雨量が1日で195mm、1時間当り70mm	50年

※吉田川流域では、昭和61年8月5日豪雨で2日間に305mmを記録



24

過去の高潮被害(海岸部)の状況も含まれています。

○昭和54年10月に起きた、台風20号による高潮被害のデータも表示しています。今後も異常気象や台風などによる高潮被害が予測されますので、さらなる注意が必要です。

気象情報等は、以下で知ることができます。

◎松島町デジタル式防災行政無線システム…町内35箇所の防災行政無線から注意を呼びかけます。

◎宮城県土木部総合情報システム… <http://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/>

◎国土交通省 川の防災情報… <http://www.river.go.jp/>

◎気象庁ホームページ… <http://www.jma.go.jp/>

気象情報や河川の水位、災害情報等を公開しています。

浸水の原因

河川の氾濫

台風や豪雨にともなう増水に河川の氾濫に起因するものがほとんどです。堤防の決壊や下水の逆流により床上・床下浸水起します。

松島町も過去に何度も浸水被害があり、近年の異常気象による台風や豪雨の増加にともなう浸水被害が懸念されています。



高 潮

台風や発達した低気圧が海岸部を通過する際に生じる海面の上昇を高潮と呼びます。

高潮は増水する速度が早く、特に満潮と台風が重なる場合などは注意が必要です。

松島町でも過去に高潮被害が度々あり、浸水想定区域マップにも昭和54年10月の台風20号の高潮被害を表示しています。

下水の逆流

最近、特に下水道が普及している都市部に多くみられるのが、下水の逆流による浸水です。ゲリラ豪雨などの集中的な豪雨により、下水の許容水量を越えた水が下水から逆流して被害を及ぼします。

松島町浸水想定区域図には、この内水情報が入っていません。したがって想定されてない場所でも浸水する恐れがあります。

浸水想定区域図

北部地域

◎なるべく高い所へ避難しましょう。



昭和61年8月5日豪雨洪水の様子

洪水時に堤防が破堤した場合には、はん濫水の勢いで堤防近傍の家屋は破壊されたり流失したりする可能性があります。

そのようなときに避難せずに家屋にとどまっていた場合には、人命に係る事態の発生も予想されます。

洪水時には、上流域も含めた雨量や河川水位情報等を早くから収集し、市町村からの避難情報等にも注意しながら、堤防が破堤する前には必ず避難が完了するよう早めの避難を心掛けてください。

避

避難所・避難場所

番号	名 称	電話番号	所 在 地
27	旧松島第四小学校	352-2102	竹谷字鳶ヶ沢7-2
28	北小泉下竹谷コミュニティセンター	—	北小泉字芋沢70-1
29	上竹谷生活センター	352-2190	竹谷字沼前34-2
30	松島第五小学校及び体育館	354-2101	幡谷字新田5-1
31	品井沼農村環境改善センター	352-2731	幡谷字鹿渡24-11
32	上幡谷生活センター	352-2800	幡谷字千刈田10
33	根廻公会堂	354-5819	根廻字桐田15-3

【注意点】

- 避難所は、状況によって使用できなくなる可能性があります。浸水想定区域図にとらわれないよう、注意して行動しましょう。
- 避難所は原則として、避難勧告発令時に開放します。しかし、より緊急性が高い場合には、行政区長や自主防災組織代表などが判断し、その地域の避難所を開放します。自主避難される方は、役場もしくは行政区長などに連絡してください。
- 避難所 上竹谷生活センター・品井沼農村環境改善センターは、最大2.0~5.0mの浸水も想定され、状況次第では使用できなくなります。

1 : 20,000

0 500m 1000m 2000m

浸水深ランク区分

- 5.0m以上の区域
- 2.0~5.0m未満の区域
- 1.0~2.0m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

- 河川等範囲
- 浸水想定区域の対象範囲

土砂災害凡例

- がけ崩れ
(急傾斜地崩壊危険箇所)
- 土石流危険区域

- ▲ 水位観測点

道路凡例

- 県 道
- 国 道
- 三陸自動車道

大
郷
町

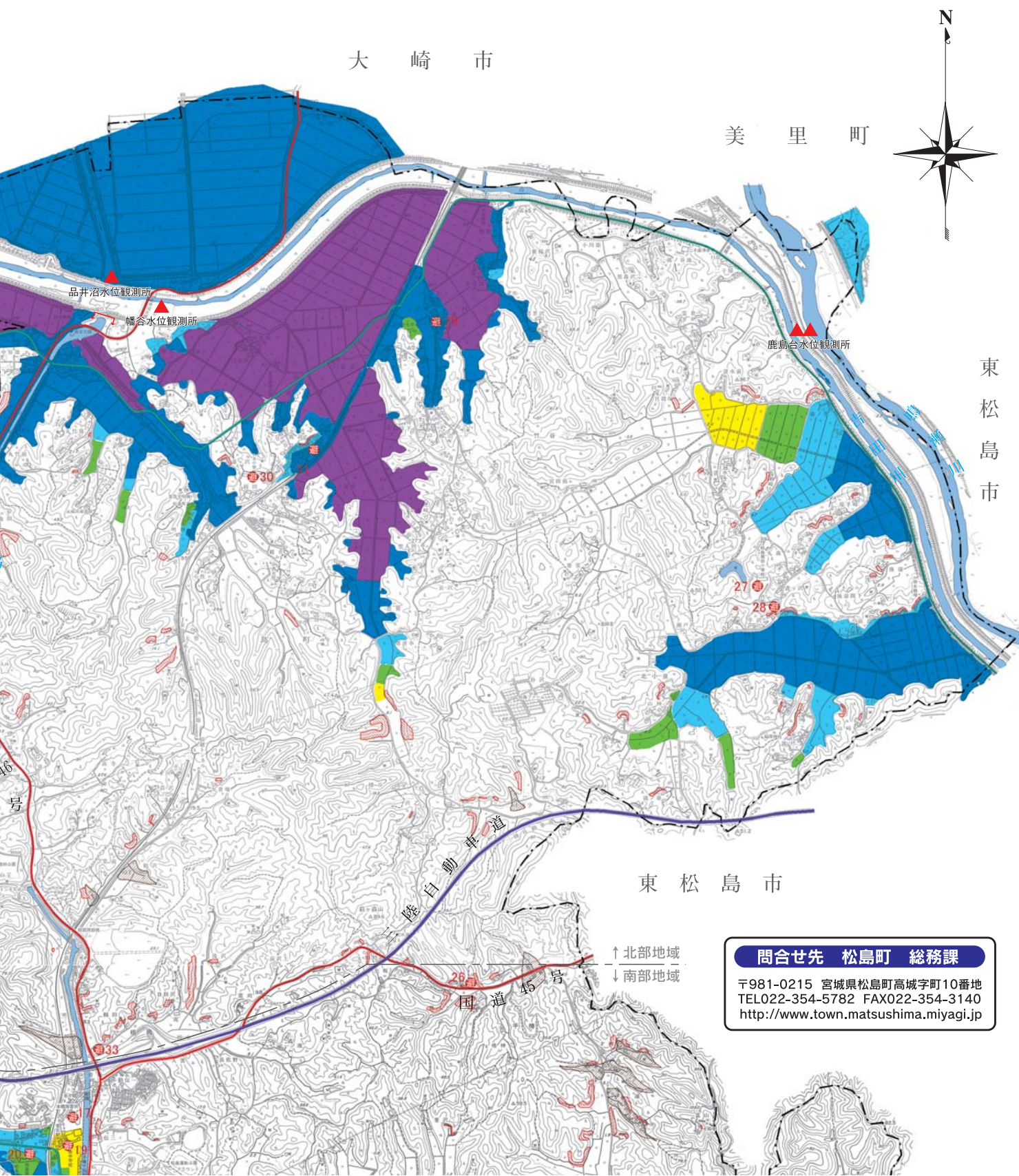
大
郷
町

- この「浸水想定区域図」は、松島町を流れる河川が大雨によって氾濫した場合、浸水が想定される区域とその浸水の深さを想定したものです。浸水の深さは、地盤（高）から推定しています。24ページの「浸水ランクの目安」でご確認ください。
- 雨の降り方によっては、想定と異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。
- 川が氾濫しない場合でも、低い土地などでは浸水被害（床上・床下浸水等）が起こる場合があります。

河川別降雨量の規模と発生確率

河川名	降 雨 量 想 定	発生確率
鳴瀬川	流域における降雨量が2日間で312mm	100年
吉田川	流域における降雨量が2日間で335mm	100年
高城川	流域における降雨量が1日間で195mm、1時間当たり70mm	50年
田中川 新 川	流域における降雨量が1日間で195mm、1時間当たり70mm	50年

※吉田川流域では、昭和61年8月5日豪雨で2日間に305mmを記録



問合せ先 松島町 総務課

〒981-0215 宮城県松島町高城字町10番地
TEL022-354-5782 FAX022-354-3140
<http://www.town.matsushima.miyagi.jp>

浸水想定区域図

南部地域

◎なるべく高い所へ
避難しましょう。

洪水時に堤防が破堤した場合には、はん濫水の勢いで堤防近傍の家屋は破壊されたり流失したりする可能性があります。

そのようなときに避難せずに家屋にとどまっていた場合には、人命に係る事態の発生も予想されます。

洪水時には、上流域も含めた雨量や河川水位情報等を早くから収集し、市町村からの避難情報等にも注意しながら、堤防が破堤する前には必ず避難が完了するよう早めの避難を心掛けてください。

浸水深ランク区分

- 5.0m以上の区域
- 2.0～5.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域



河川等範囲
浸水想定区域の対象範囲

昭和54年台風20号高潮被害



浸水箇所

●この「浸水想定区域図」は、松島町を流れる河川が大雨によって氾濫した場合、浸水が想定される区域とその浸水の深さを想定したものです。浸水の深さは、地盤（高）から推定しています。24ページの「浸水ランクの目安」でご確認ください。

●雨の降り方によっては、想定と異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。

●川が氾濫しない場合でも、低い土地などでは浸水被害（床上・床下浸水等）が起こる場合があります。

●高潮被害につきましては、昭和54年10月の台風20号のデータを表示しています。

河川別降雨量の規模と発生確率

河川名	降雨量 想定	発生確率
鳴瀬川	流域における降雨量が2日間で312mm	100年
吉田川	流域における降雨量が2日間で335mm	100年
高城川	流域における降雨量が1日間で195mm、1時間当たり70mm	50年
田中川 新 川	流域における降雨量が1日間で195mm、1時間当たり70mm	50年

※吉田川流域では、昭和61年8月5日豪雨で2日間に305mmを記録

大
郷
町

利 府 町

問合せ先 松島町 総務課

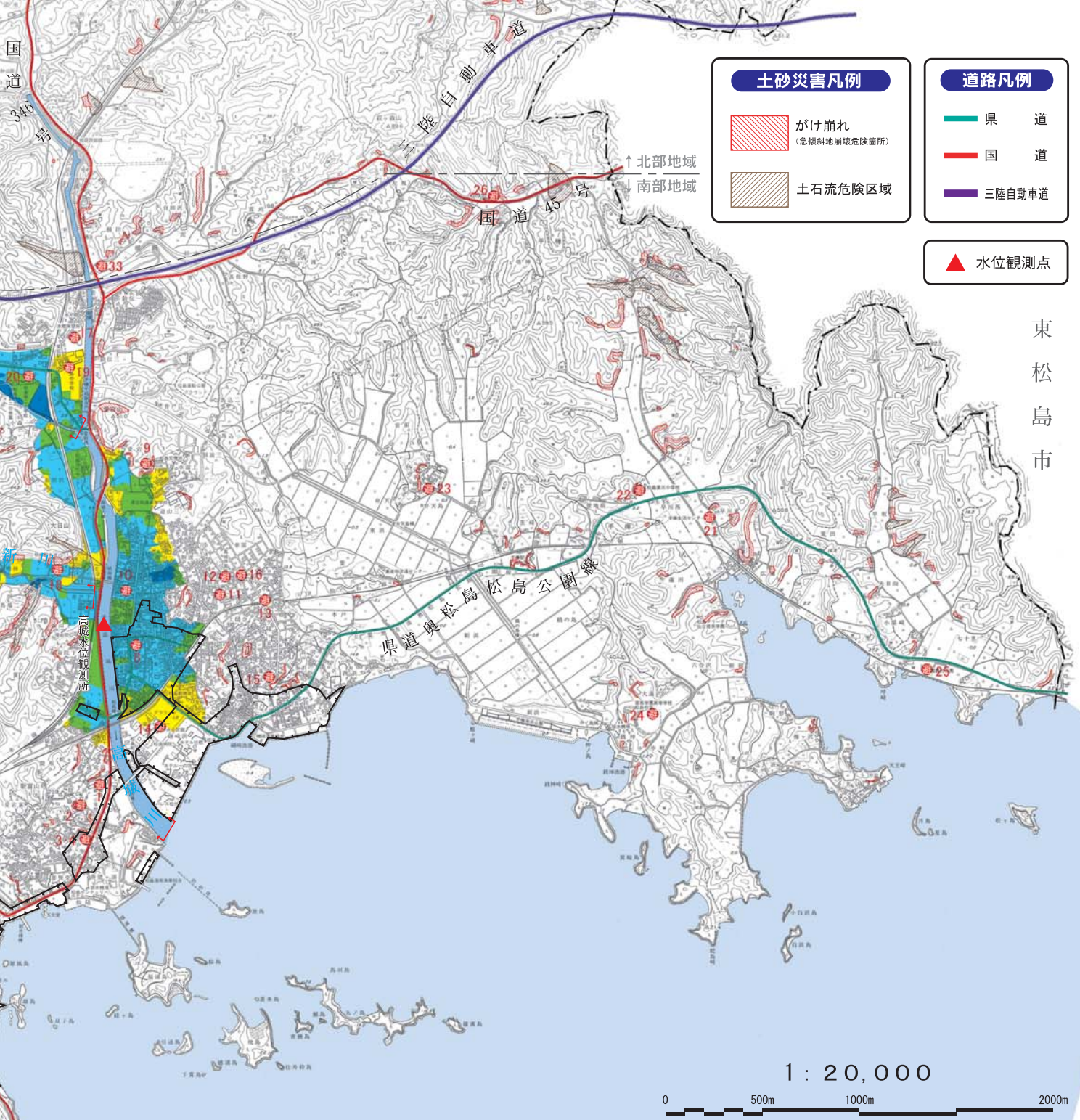
〒981-0215 宮城県松島町高城字町10番地
TEL022-354-5782 FAX022-354-3140
<http://www.town.matsushima.miyagi.jp>



避難所・避難場所

番号	名 称	電話番号	所 在 地
1	松島第一小学校	354-2384	松島字道珍浜10
2	第一町民体育館	354-5389	松島字陰ノ浜1
3	垣ノ内支館	—	松島字普賢堂54-14
4	ほほえみの家	353-2125	松島字普賢堂54-14

【注意点】 ●避難所は、状況によって使用できなくなる可能性があるともいえます。浸水想定区域などが判断し、その地域の避難所を開放します。自主避難される方は、役場もしくは行政も想定され、状況次第では使用できなくなります。



昭和54年10月19日台風の様子

名	称	電話番号	所在地
高城公会堂		—	高城字町164
県立松島高校		354-3307	高城字迎山三5
勤労青少年ホーム		354-4036	高城字町71
高城保育所		354-2509	磯崎字白坂25-4

番号	名	称	電話番号	所在地
12	華園集会所及び公園		353-2788	磯崎字華園地113
13	白萩会館		354-3644	磯崎字白萩164-1
14	松島町中央公民館及びグラウンド		353-3030	磯崎字浜1-2
17	第二町民体育館		354-5384	高城字三居山一6
18	明神地区コミュニティ消防センター		354-3937	高城字明神二9
19	松島中学校		354-3309	高城字三居山一6-1
20	松島第二小学校及び体育館		354-2456	高城字反町五14
21	手樽生活センター		354-3730	手樽字早川東14-3
22	旧松島第三小学校		354-2041	手樽字釜地前1-1
23	手樽ひだまりの家		353-3171	手樽字元手樽43-3
24	旧仙台育英学園研修センター		—	手樽字大蓬沢13-1
25	古浦多目的集会所		—	手樽字七十里59
26	左坂支館		—	手樽字左坂33-1
34	初原コミュニティセンター		—	初原字の場21-14

感図にとらわれないよう、注意して行動しましょう。●避難所は原則として、避難勧告発令時に開放します。しかし、より緊急性が高い場合には、行政区長や自主防災組織代表な
 区長などに連絡してください。●避難所 高城公会堂・勤労青少年ホーム・松島中学校・松島第二小学校・明神地区コミュニティ消防センターは、高城川で最大1.0~2.0mの浸水

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

最初の大きな揺れは約1分間

- 自分の身の安全を確保。
- 頭を物で覆って保護する。
- テーブル、机の下に逃げる。
- 落下物を避けること。
- 家具の転倒に気をつける。
- 屋外へ出る(判断が必要)。

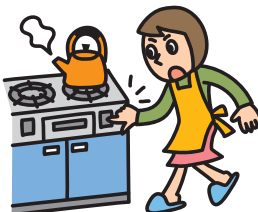


数分

揺れがおさまったら

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 火元の確認(消火作業はないか)。
- 電気系統を切る。
- ガス栓を閉める。
- 室内の家族の安否確認。
- 屋外へ出る／靴を履く。



緊急対応

- 大声を出す。笛やブザーを鳴らす
- 何かをたたいて注意を引く
- 避難(階段は注意する) →救助活動、消火活動

家の周りの点検 外部との連絡をする

- 塀の倒壊などはないか家の周囲を点検する。
- 電源(電線切断)や道路の損壊などに注意する。
- 隣近所に声をかける。



外部と連絡

- 一般電話／携帯電話で →緊急手配 火災・救急車 119番
- 松島町デジタル式防災行政無線通信

ラジオなどで正しい情報を

- ラジオ／テレビ／防災無線／防災行政無線システム など

協力して消火活動、救出・救護活動を

必要行動

- 負傷者は救護、避難させる。
- 消火、救出、援護 など

確認

- 水、食料、暖房、薬品、雨具の確認。
- 避難場所、避難所マップで確かめましょう。



数十分

数日間

屋内にいた場合

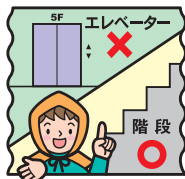
■家の中

- 揺れを感じたらまず身の安全確保。
- 揺れがおさまったら、火元の確認→消火、大声で助けを呼ぶなどをする。
- 電気・ガス→元栓を切断。
- 家族、特に乳幼児・病人・高齢者の安全確保。
- 靴を履き、すばやく屋外の安全な場所へ避難。



■集合住宅

- ドアや窓を開け、避難口を見つける。
- エレベーターは使わず、階段を利用する。
- 炎と煙に巻き込まれないよう注意する。



■デパート・スーパー

- 頭の保護(落下物から身を守る)。
- ガラス(ショウウィンドウ)から遠ざかる。
- 柱や窓わきに身を寄せる。



■劇場・ホール

- 頭の保護(落下物から身を守る)。
- 座席の間に身を隠す。
- 係り員の指示に従う。
- 非常口を見つける。

屋外にいた場合

■路上

- 何もない広場に避難する。
- ビル街はガラスなどの落下物に注意し、頭を保護する。
- ブロック塀(石塀)、自動販売機に近づかない。
- 電柱や垂れ下がった電線は危険、注意する。



■車を運転中

- 地震を感じたらスピードダウンして道左側に停車し、ハザードランプ等で後方に知らせる。
- エンジンを停止する。
- 情報把握はラジオで可能。
- 貴重品を持出す。
- ドアのキーはロックしない。

■電車などの車内

- 急停車時にはしっかりと吊革を掴む。
- 非常事態による脱出は、係り員の指示に従う。
- 路線の反対車線は危険



■海岸付近

- 高台へ避難する。
- 津波発生情報を聞く。



初期消火の3原則

1人で消せると考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。
初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

1 早く知らせる

- 火災発生は大声で知らせる。
- 声が出ない場合はやかん等を叩いて知らせる。
- 小さな火事でも119番に通報する。



2 早く消火する

- 消火は、火が発生してから3分以内が限界。
- 消火は、水や消火器だけでなく座布団で叩いたり、濡らした毛布で覆ったり、身近なものを活用する。



火元別初期消火のコツ

■油なべ

水をかけるのは絶対ダメ。
油が飛び散り危険です。
消火器がなかったら、濡らしたシーツで覆い空気を遮断する。



■石油ストーブ

斜から水をかけると石油が飛び散って危険なので、真上から一気にかけて消火する。石油が流れて広がるようなら毛布やシーツなどで覆い、その上から水をかける。

■電気製品

感電の危険があるので、いきなり水をかけずに、まずコードを抜いてから(できればブレーカーを切る)水をかけ消火する。

■衣類

着衣に火がついたら、自ら転がって消すのも方法。髪の毛なら化繊以外のタオルなどをかぶる。

■カーテン・ふすま

立ち上がり面に火が燃え広がったら消火は難しい。カーテンは引きちぎり、ふすまは蹴り倒すなどして天井から遠ざけてから消火する。

3 早く逃げる

- 天井に火が回ったら、もう1人での消火は無理。
- 避難するときは、燃えている部屋の空気を遮断するためにドアを閉じよう。



30

消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合

かまえ方と注意



安全ピンに指をかけ引き抜く。



ホースをはずして火元に向ける。



レバーを強く握って噴射する。

風上に行き消火開始。
姿勢は低くし、熱や煙りを避け、ノズルは火の根元にむけて掃くように左右に振る。



火災は予防が一番です。

火災報知器の設置義務化

■消防法の改正により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

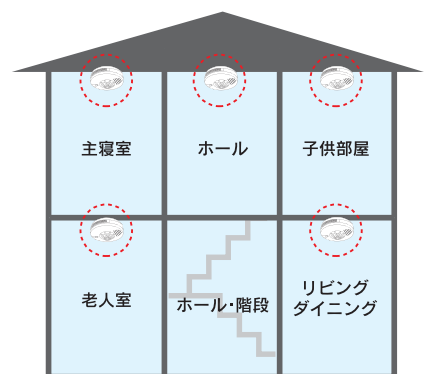
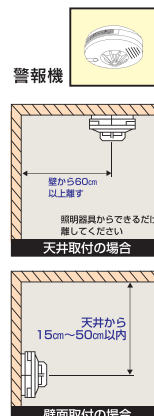
- 新築の住宅は、平成18年6月1日から
- 既存の住宅は、平成20年6月1日から

■火災による死者が増えています

平成16年に全国で住宅火災による死者数は1,038人で、昭和61年以来17年ぶりに年間1,000人を超えた平成15年に続き、1,000人を超えました。このうちの約7割が逃げ遅れによるものです。さらに、590人は65歳以上の高齢者となっており、死者の56.3%を占めています。

■住宅用火災警報器の設置効果

いかに早く火災に気づき、素早く避難できるかが生死をわけるカギとなります。



住宅内取付位置図例

わが家の防災対策

建物の地震対策

皆さんの生命・財産を守るためには、建物の耐震化が重要です。

■木造住宅の耐震診断

木造住宅の耐震性は、主に3つのチェックポイントがあるとされています。

- 建てられてから、かなりの年月が経っているか(特に昭和56年以前に建てられたものか)。
- 住宅が過去に大きな災害(地震や水害など)を経験したことがあるか。
- 住宅の構造、形、偏って大きな窓がたくさんあるなど、耐震に関わる基本的な住宅の性質に問題がないか。

耐震性の判断には建築の専門知識が要求されます。

目立った症状が無くても、耐震診断を受けることが重要です。

特に宮城県では、今後10年以内に60%、30年以内では90%の確率で宮城県沖地震が発生すると予想されています。地震被害を最小限にするためには、まず、耐震診断を受けて「わが家」が地震に耐えられるのか確かめてください。その結果、耐震性が不十分と診断された住宅は、地震に対して安全な建物となるよう基礎や壁などを補強する耐震改修工事を行いましょう。

木造住宅の耐震化の平均的な費用は約160万円(財団法人建設経済研究所推計)といわれています。実際の施工費用とは大きく異なる場合がありますので、耐震改修を行うためには、信頼できる専門家による耐震診断と設計が必要です。



松島町では、専門家による住宅の耐震診断や改修工事の助成事業を行っています。
お気軽にお問合せください。



お問い合わせ先 松島町 建設課

TEL022-354-5715

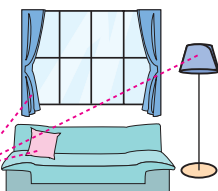
家の中の安全対策

地震や火災から生命や財産を守るために、日頃から自分でできる安全対策をしましょう。

火災対策

■壁材・カーテンなどを耐火性のものにする

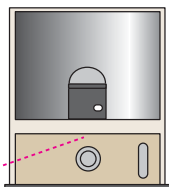
火災や火災の延焼を防ぐために、家の外壁などに防火材を使用しましょう。また、カーテンや家具などもなるべく不燃性のものを使用しましょう。



不燃素材使用

■ストーブなどは自動消火機能のあるものを求めましょう

ストーブやガスレンジなどは、転倒時や異常高温時に自動で消火する機能のあるものが多く販売されていますので、なるべくそちらを使用しましょう。



自動消火装置付き

共通

■玄関や通路にもものを置かない

避難経路の近くにものを置くと、避難時に邪魔になったり、逃げ道を塞いでしまう可能性があります。

玄関や通路は散らかさないようにしましょう。



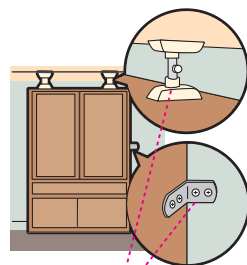
散らかさない!

地震対策

■家具の転倒や落下を防ぐ

大地震が発生すると、部屋にある家具が凶器となる場合があります。家電製品が飛んできたり、家具の転倒によりケガをするケースが多発します。家具等を固定するなど、転倒や落下防止の対策をしましょう。

また、背の高い家具の上には物を置かないようにしましょう。



転倒防止器具の使用

■重いものは家具の下に収納する

背の高い家具は重心が高い分、転倒しやすくなります。収納は、重いものを下に、軽いものを上に入れるようにしましょう。

■ガラス等の飛散を防ぐ

地震時の衝撃や転倒時にガラスが割れても飛び散らないよう、窓ガラスや戸棚のガラス部分には、飛散防止フィルムを貼りましょう。また、食器棚については、食器が飛び出すのを防ぐため、扉の開放防止器具を取り付けましょう。

■家具のない部屋で寝る

就寝中の地震を考慮して、寝室にはなるべく大きな家具などを置かないようにしたいものです。

(懐中電灯、靴、保険証などを袋に入れて、カーテンなどに留めておきましょう。)

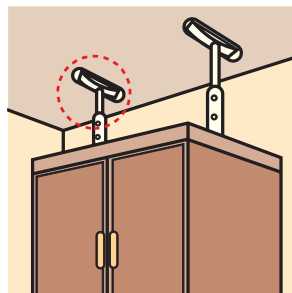


家具の地震対策のいろいろ

大地震が発生したら、家具が一瞬にして凶器に変わることがあります。日常の生活からは想像できない事態によって、思わぬケガをしたり、避難が遅れて火災に巻き込まれたりしないよう、もう一度点検しましょう。

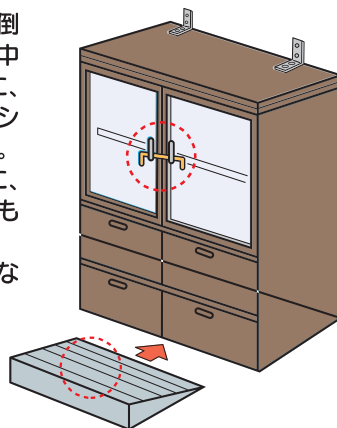
タンス・本棚

L字金具や支え棒など転倒防止器具で固定。
二段重ねの家具は、上下を金具で連結しておきます。



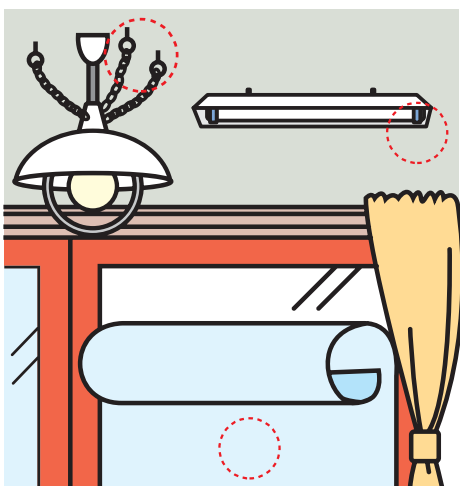
食器棚

L字金具や支え棒など転倒防止器具で固定。地震時に中の食器が飛び出さないように、ふきんや市販の滑り止めシートを敷いておきましょう。
扉が勝手に開かないように、留め金具などをつけるのも良いでしょう。
市販の転倒防止マットなども有効です。



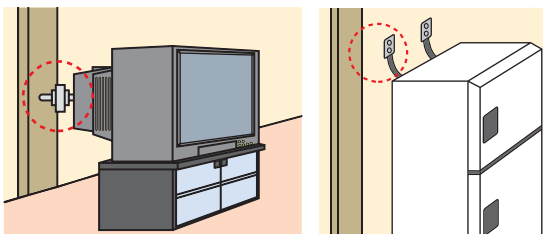
照明器具

チェーンやねじフックで数箇所しっかり固定しましょう。
フォルダーのない直線蛍光灯は、はずれないように両端を耐熱テープで留めます。

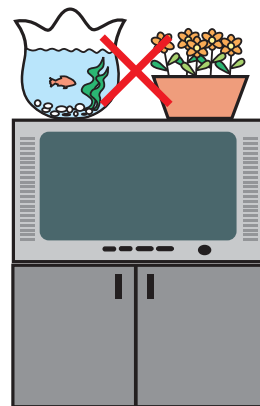


テレビ・家電製品等

できるだけ低い位置に置きましょう。
さらに壁に固定したり、転倒防止マットを敷くなどして、地震時の転倒を予防しましょう。

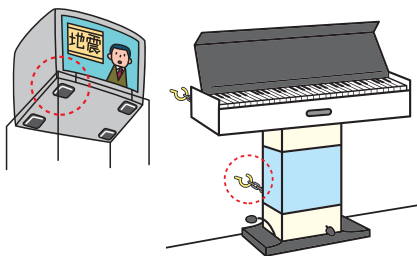


家電製品の上に重いものや水の入ったものを置くのは止めましょう。
地震の際に倒れたり、水でショートや感電する危険があります。



ガラス

ガラスの飛散は非常に危険です。窓ガラスや食器棚のガラス部分には、飛散防止フィルムを貼りましょう。
窓ガラスは内側、家具類は外側に貼ります。

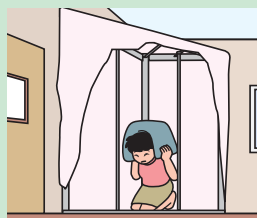


避難シェルターや耐震ベッドの導入を検討しましょう。

防災対策として様々なグッズが市販されています。避難用シェルターなどで安全な空間を確保することで、住宅の倒壊等による圧死の回避や一時避難スペースの確保ができます。

■避難用シェルター

家を改造するような大掛かりなシェルターではなく、部屋の一部に設置するタイプの簡易シェルターが市販されています。
様々な形状があり比較的安価で設置することができます。



■耐震ベッド

就寝中の地震にも安心の耐震ベッドが市販されています。特に高齢者や寝たきりの方にはお薦めです。
現在では種類も多く、インターネットで検索すると、様々なタイプから個々の都合にあったベッドを選ぶことができます。



家の周囲の安全対策

■ベランダ

ベランダは耐久的に脆くなることが多いので、階段や踏み台などを点検しましょう。植木鉢などの落下防止もしましょう。

■ブロック塀 ■門柱

塀の崩壊による人身事故が多発しています。専門家による点検をしましょう。

■屋根

地震による屋根瓦の破損がよく見られます。地震に瓦は弱いものです。煙突やテレビアンテナも点検しましょう。

■プロパンガス

ガスボンベの転倒防止は、チェーンによる固定をする。

■窓ガラス

最近はワイドガラスもあり、被害の大きさが目立ちます。飛散防止フィルムなどで被害を軽減できます。

ブロック塀や石塀の地震対策

地震で多いブロック塀などの倒壊事故

1978年6月12日に発生した宮城県沖地震(M7.4)では、ブロック塀の倒壊が多く発生し、宮城県内の死者27名のうち11名の方がブロック塀の倒壊により亡くなりました。

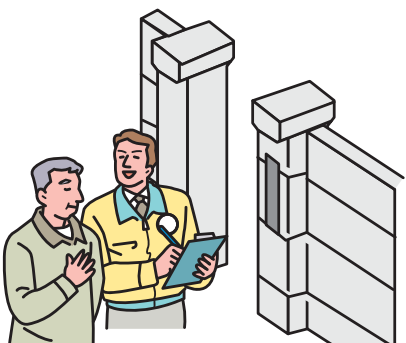
さらに、他に発生した地震においてもブロック塀の倒壊で多くの死傷者が発生しています。身近にあるブロック塀は、見かけはしっかりしていても安全性に欠けるものがあります。「うちのブロック塀は大丈夫だろう」などと安易に考えることなく、一度ブロック塀の点検を行い、必要に応じて撤去や倒壊防止対策を行ってください。



■地震により倒壊したブロック塀などの例

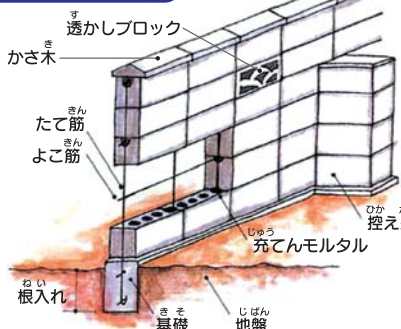


不特定又は多数の人々が通行する道路、通学路、避難路などの道路に面するブロック塀は特にその安全確保が求められます。



ブロック塀(石塀)を専門家と一緒に見回り(点検)しましょう。

ブロック塀の構造



ブロックの重さは



高さ1.6m、長さ1mのブロック塀の重さは、320～400Kgです。例え、その破片であっても、私たちの力で支えられるものではありません。倒壊などにより、高いところから直撃を受けると、重大な事態が生じます。

※このイラスト及び内容は、(社)全国建築コンクリートブロック工業会のホームページより転載しております。

非常持出品の準備

いざというときすぐに持ち出せるように、日頃から準備・点検をしておきましょう。



非常持出品(例) 強い地震でも、動いて見失ったり、壊れたりしないように工夫しましょう！

携帯ラジオ 携帯電話 メガネ

予備の電池を用意しておく。



救急医薬品

常備薬、絆創膏、傷薬、包帯、風邪薬、胃腸薬、鎮痛剤など。



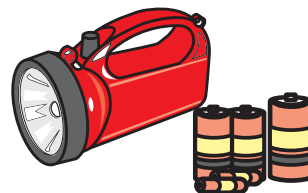
貴重品

現金、貯金通帳、印鑑、健康保険証、免許証、権利証書など。



懐中電灯

できれば人数分の懐中電灯と予備電池。



非常食品

非常用食品、缶詰、カンパンなど火を通さずそのまま食べられるもの。ミネラルウォーター、缶切、水筒、紙コップなど。



その他

下着・上着などの衣類、タオル、ハサミ・ナイフ、生理用品、ミルクや離乳食、紙オムツ、防災頭巾、(ウェット)ティッシュ、ビニール袋、合羽、長靴、ヘルメット、軍手、ライター、簡易トイレなど。



非常備蓄品(例)

非常備蓄品は、災害復旧までの数日間(最低3日分)を生活できるように準備しておくものです。

飲料水

飲料水は、1人1日約3リットル必要です。ペットボトルやプラスチックタンクで用意しておきましょう。



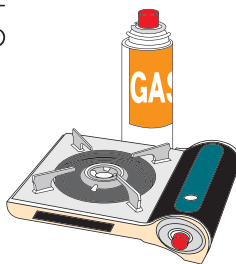
非常食品

米(レトルト、アルファ米、缶詰などが便利)、缶詰食品、ドライフーズ、梅干し、調味料。さらに、チーズ、チョコレート、菓子などの高カロリー食品。



燃料

卓上コンロ(ガスボンベも)、固形燃料、ライター。



その他

洗面用具、毛布、寝袋、エアーマット、なべ、やかん、バケツ、ポリタンク、プラスチック食器などのアウトドア用品など。



非常持出し品は定期的に点検を！

いざというときに支障のないように、食品類の消費期限や持出用品の不備を定期的に点検しましょう。

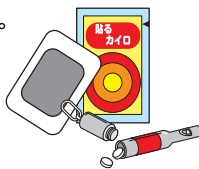
避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具(マジックなど、スコップなど)。

阪神・淡路大震災で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備のメガネ、補聴器、ビニールシート、新聞紙など。

補助用具としてロープ、スコップ、ボール、ハンマーなど。



AED

について

(自動体外式除細動器)

松島町では、松島中学校や各小学校、公民館等公共施設にAEDを設置しています。

いざという時に使用できるよう、積極的に地域の訓練や救急救命講習会に参加しましょう。



わが家の 防災メモ

氏名	同居人数(本人含まず) 人
住所 〒 — — ※地図でお住いの位置と避難場所を確認しておきましょう。	
TEL — —	

家族が離ればなれになった時の集合場所又は連絡方法を決めておきましょう。

※例えば〇〇小学校の正門に集まるなど

避難場所・連絡方法

家族・親族等の連絡先及び救急データ

氏 名	続柄	電話番号・携帯電話番号	勤務先・部署／学校名・学年	メモ(アレルギー・常備薬・持病・血液型等)
				型
				型
				型
				型
				型
				型
				型

家族のかかりつけ病院等の連絡先

家族氏名	医療機関名	連絡番号	メモ(病名・主治医名等)

緊急連絡先

警察 **110** 番

松島交番 **354-2024**

救急
消防 **119** 番

松島消防署 **354-4226**

町役場

354-5701(代表)

水道事業所

354-5711

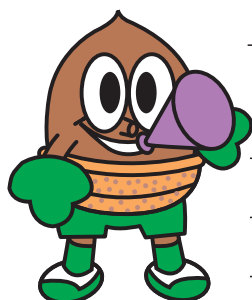
東北電力

0120-175-366

ガス会社

—

◎平常時に必要事項を記入しておきましょう。



災害用緊急ダイヤルの使い方

NTTでは、震度6弱以上の地震発生時に、被災地内の安否等の情報を音声で録音・再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。

伝言の録音	171-2-000-000-0000(相手の電話番号)	伝言の再生	171-1-000-000-0000(自宅の電話番号)
録音時間	30秒以内	伝言保存期間	録音してから2日
録音回数制限	1電話番号あたり10伝言まで	利用可能電話	一般電話(プッシュ回線・ダイヤル回線)、 公衆電話、携帯電話(一部機種除く)等